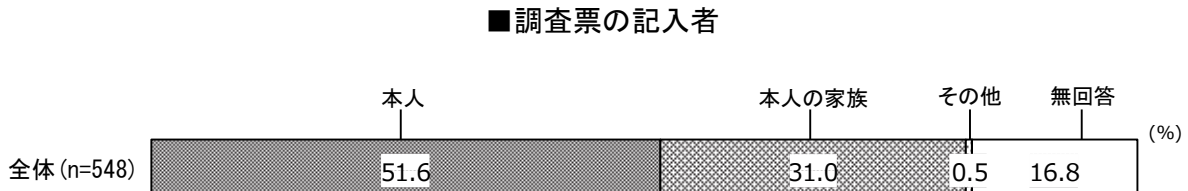


4. 介護保険居宅サービス利用者調査

(1) 基本属性

① 調査票の記入者（問1）

調査票の記入者は、「本人」が51.6%、「本人の家族」が31.0%となっている。



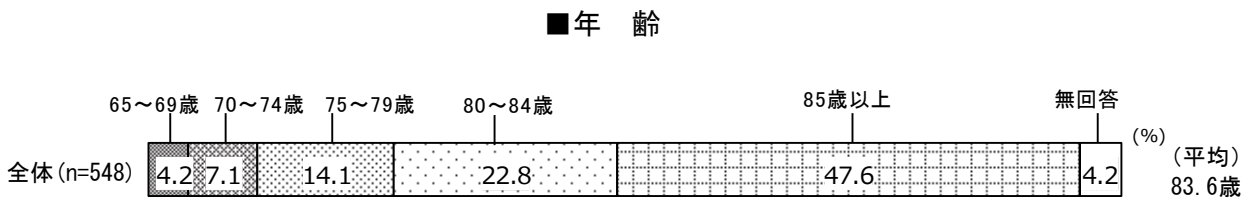
② 性別（問2）

性別は、「男性」が34.5%、「女性」が64.8%となっている。



③ 年齢（問3）

年齢は、「85歳以上」(47.6%)が最も多く、「80～84歳」(22.8%)、「75～79歳」(14.1%)と続いている。なお、前期高齢者は11.3%、後期高齢者は84.5%、平均は83.6歳となっている。

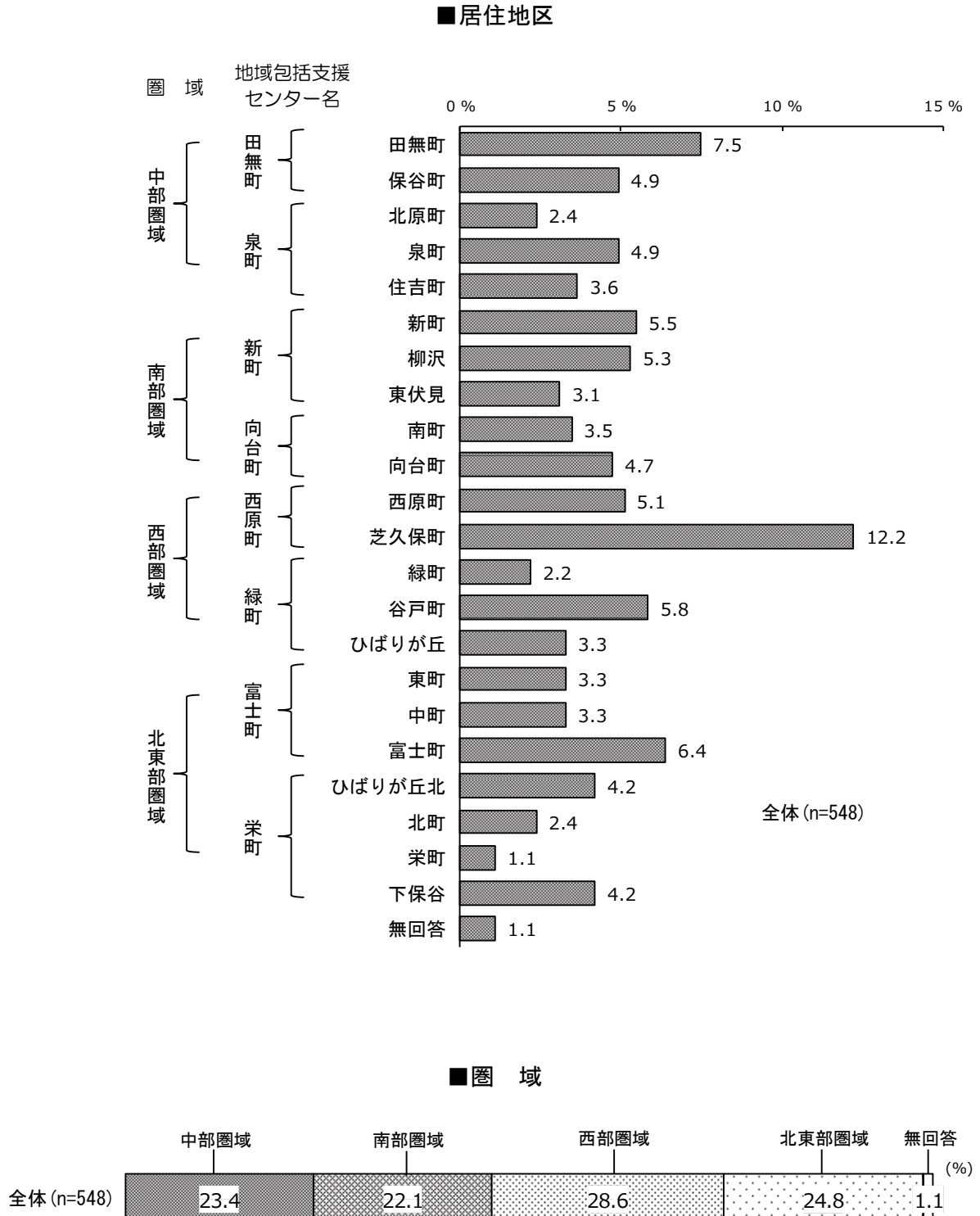


第2章 各調査の結果

④ 居住地区（問4）

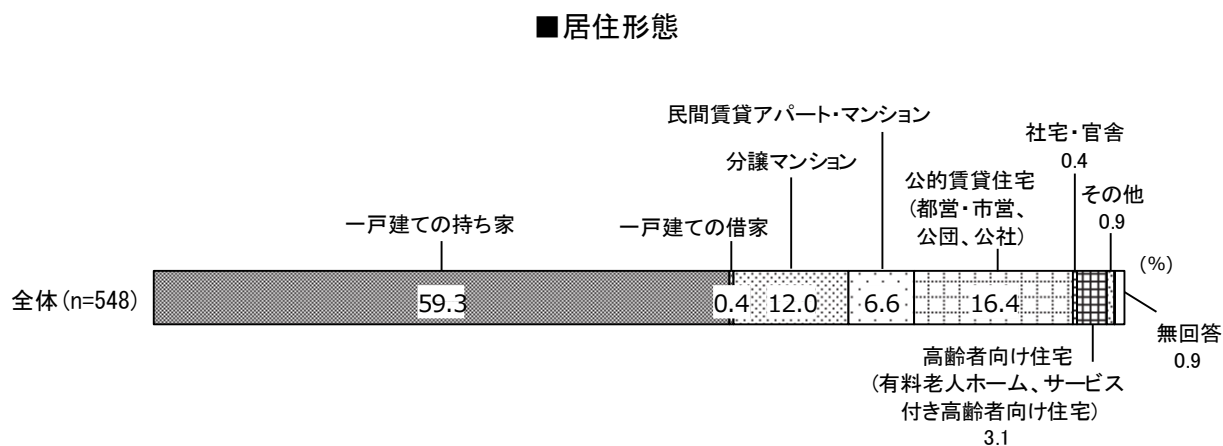
居住地区は、「芝久保町」（12.2%）が最も多く、「田無町」（7.5%）、「富士町」（6.4%）と続いている。

圏域で見ると、「西部圏域」（28.6%）が最も多く、「北東部圏域」（24.8%）、「中部圏域」（23.4%）、「南部圏域」（22.1%）と続いている。



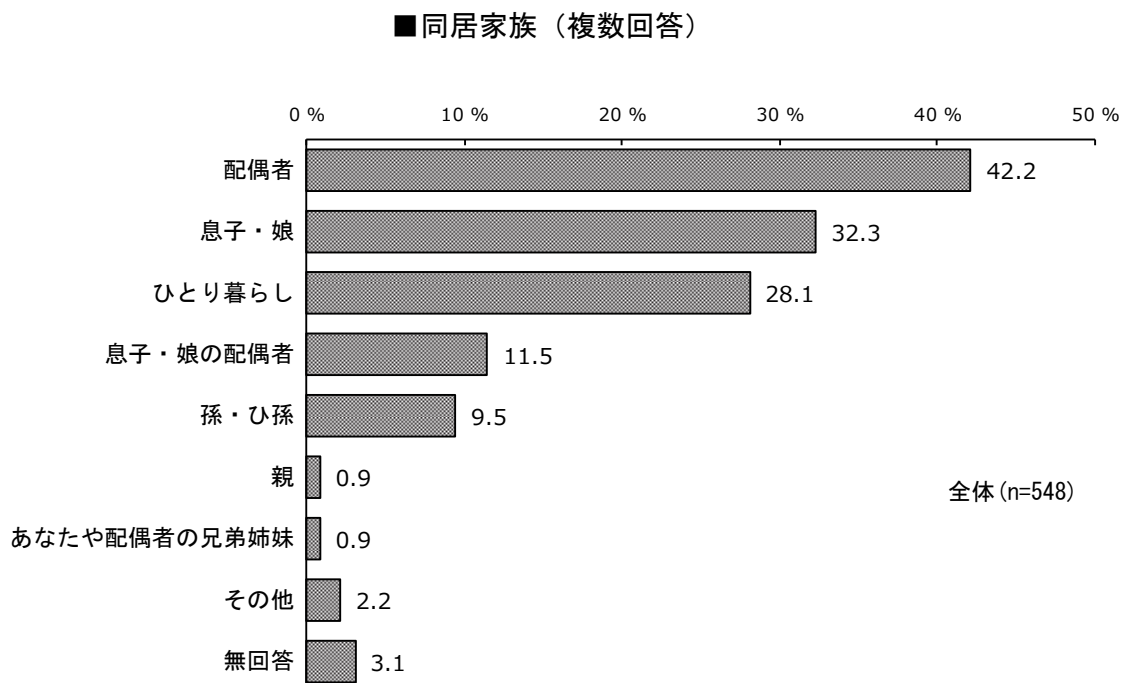
⑤ 居住形態（問5）

居住形態は「一戸建ての持ち家」(59.3%)が最も多く、「公的賃貸住宅（都営・市営、公団、公社）」(16.4%)、「分譲マンション」(12.0%)と続いている。



⑥ 同居家族（問6）

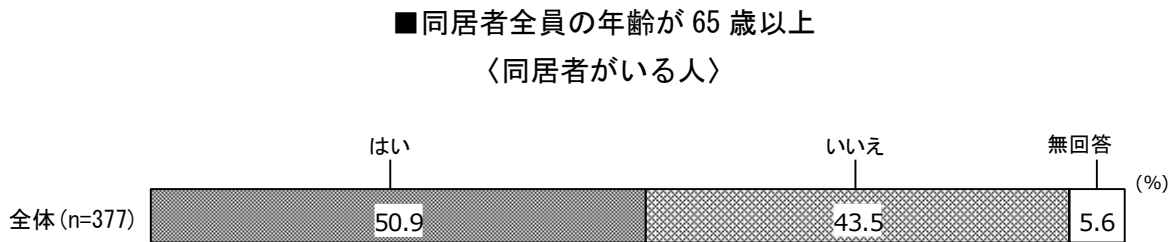
同居家族は、「配偶者」(42.2%)が最も多く、「息子・娘」(32.3%)、「ひとり暮らし」(28.1%)と続いている。



第2章 各調査の結果

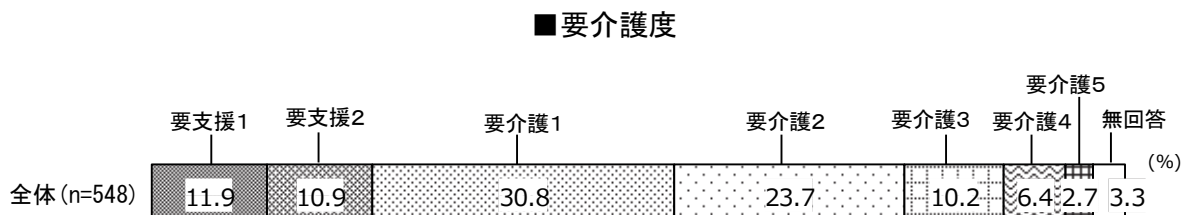
⑦ 同居者全員の年齢が65歳以上（問6付問）

同居者がいる人（問6で「ひとり暮らし」以外に回答した人）の同居者全員の年齢が65歳以上という回答は、「はい」が50.9%、「いいえ」が43.5%となっている。



⑧ 要介護度（問7）

要介護度は、「要介護1」（30.8%）が最も多く、「要介護2」（23.7%）、「要支援1」（11.9%）と続いている。



平成25年度調査と比較すると、「要介護1」が8.1ポイント増加し、「要支援2」が6.7ポイント減少している。

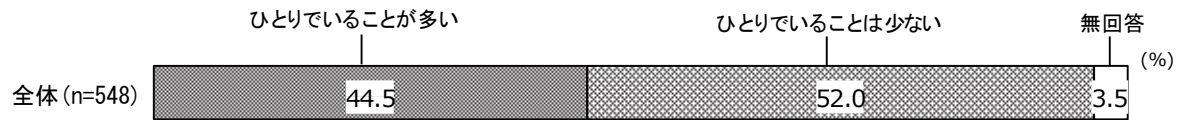
■【前回比較】要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
平成28年度調査 (n=548)	11.9	10.9	30.8	23.7	10.2	6.4	2.7	3.3
平成25年度調査 (n=933)	16.8	17.6	22.7	18.8	10.8	5.4	3.2	4.7

⑨ 平日の日中独居の状況（問8）

平日の日中独居の状況は、「ひとりであることが多い」が44.5%、「ひとりであることは少ない」が52.0%となっている。

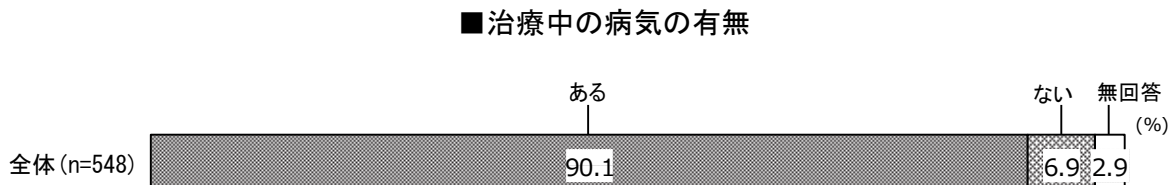
■平日の日中独居の状況



(2) 医療の状況

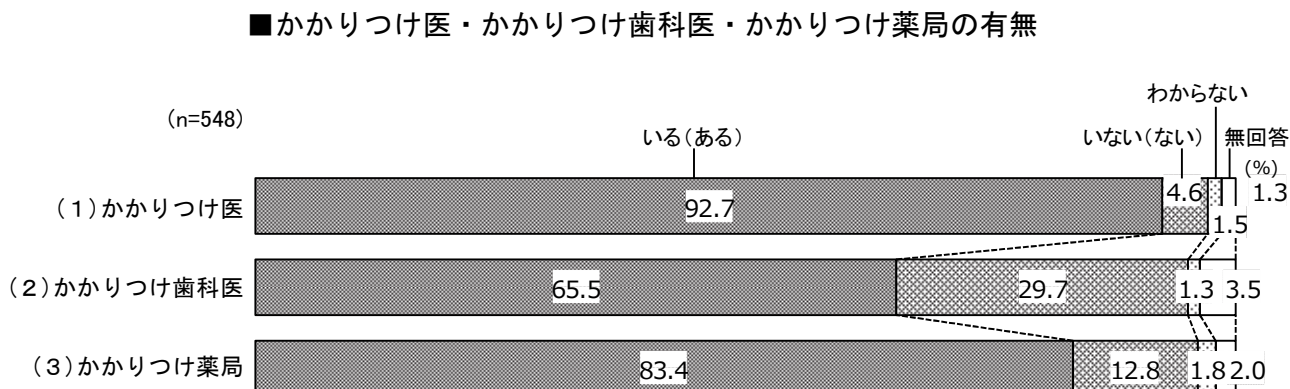
① 治療中の病気の有無 (問9)

治療中の病気の有無は、「ある」が90.1%、「ない」が6.9%となっている。



② かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無 (問10)

かかりつけ医が「いる」は92.7%、かかりつけ歯科医が「いる」は65.5%、かかりつけ薬局が「ある」は83.4%となっている。



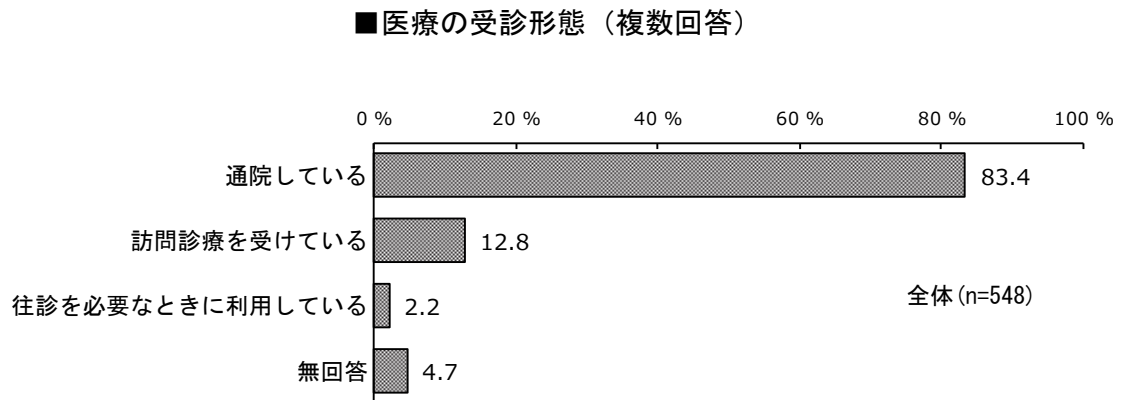
平成25年度調査と比較すると、かかりつけ医とかかりつけ歯科医は大きな変化はみられず、かかりつけ薬局は「ある」が4.9ポイント増加し、「ない」が3.6ポイント減少している。

■【前回比較】かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無

		割合 (%)			
		(いあるる)	(いなない)	わからない	無回答
かかりつけ医	平成28年度調査 (n=548)	92.7	4.6	1.5	1.3
	平成25年度調査 (n=933)	92.1	5.9	0.9	1.2
かかりつけ歯科医	平成28年度調査 (n=548)	65.5	29.7	1.3	3.5
	平成25年度調査 (n=933)	65.1	30.3	1.2	3.4
かかりつけ薬局	平成28年度調査 (n=548)	83.4	12.8	1.8	2.0
	平成25年度調査 (n=933)	78.5	16.4	2.4	2.8

③ 医療の受診形態（問11）

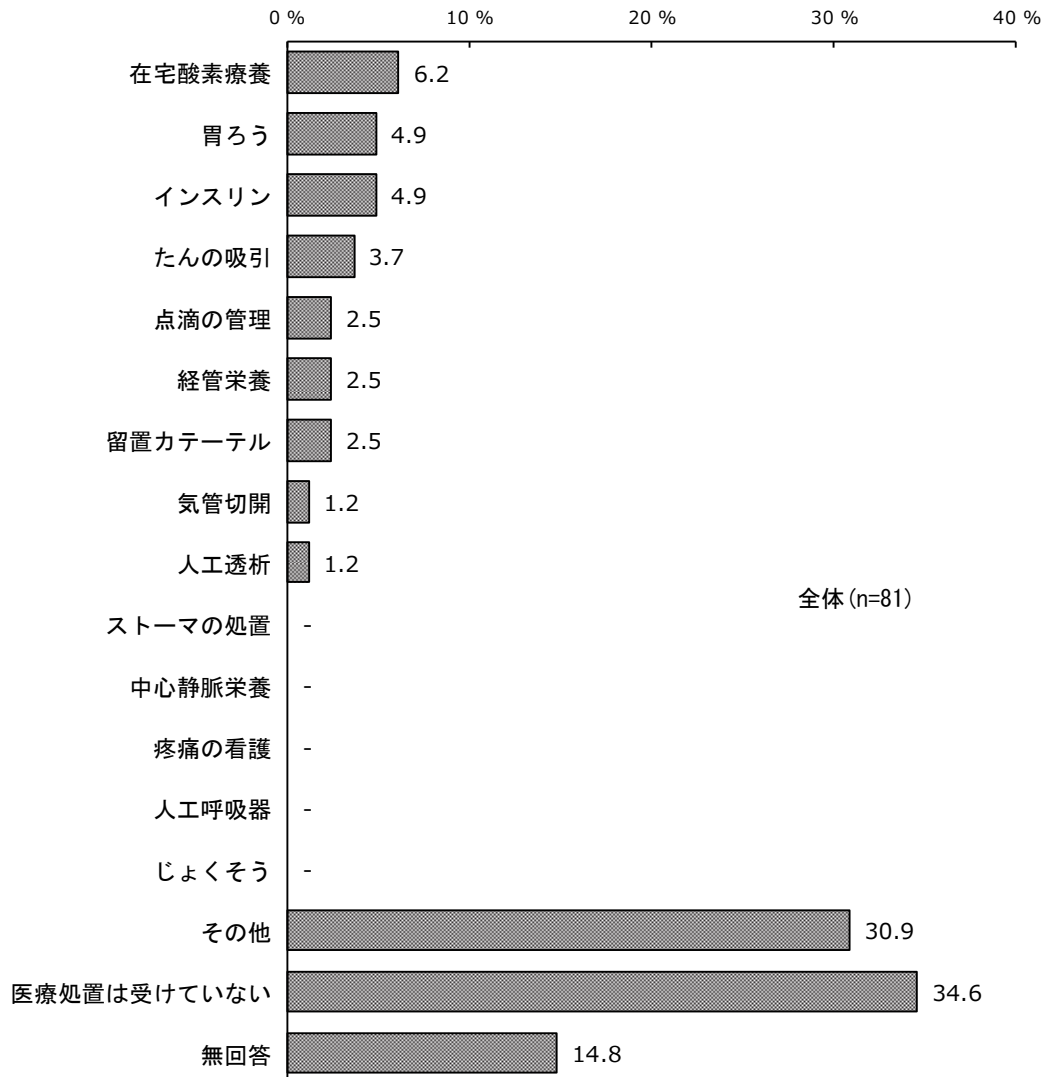
医療の受診形態は、「通院している」が83.4%、「訪問診療を受けている」が12.8%、「往診を必要なときに利用している」が2.2%となっている。



④ 受けている医療処置（問11付問1）

自宅訪問による診療を受けている人（問11で「訪問診療を受けている」「往診を必要
なときに利用している」と回答した人）の医療処置は、「医療処置は受けていない」
（34.6%）が最も多く、「その他」（ペースメーカー、歯科など）（30.9%）、「在宅酸素療
養」（6.2%）、「胃ろう」「インスリン」（ともに4.9%）と続いている。

■受けている医療処置（複数回答）
〈自宅訪問による診療を受けている人〉

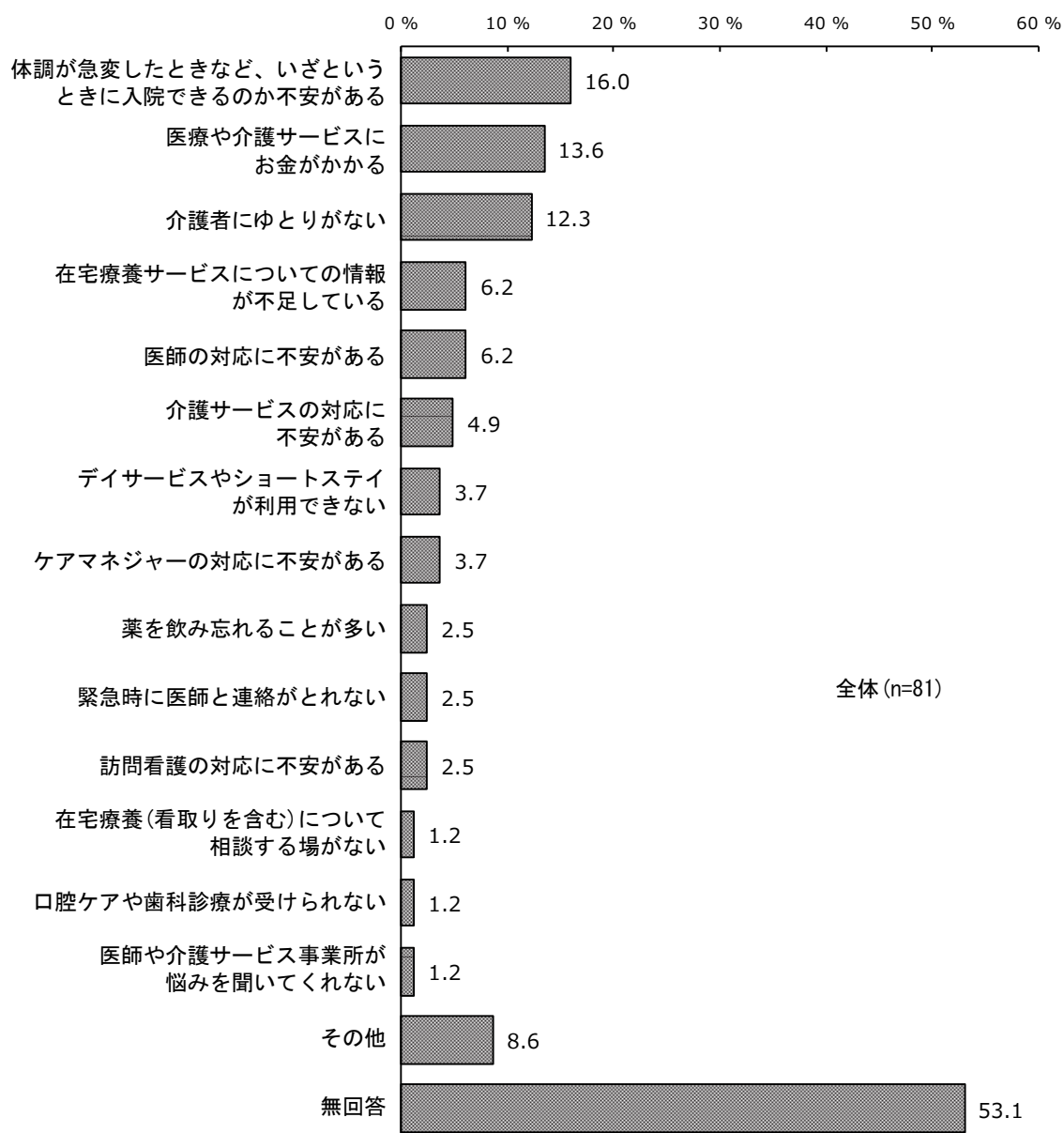


⑤ 在宅療養を送るうえで困っていること（問11付問2）

自宅訪問による診療を受けている人（問11で「訪問診療を受けている」「往診を必要なときに利用している」と回答した人）の在宅療養を送るうえで困っていることは、「体調が急変したときなど、いざというときに入院できるのか不安がある」（16.0%）が最も多く、「医療や介護サービスにお金がかかる」（13.6%）、「介護者にゆとりがない」（12.3%）と続いている。

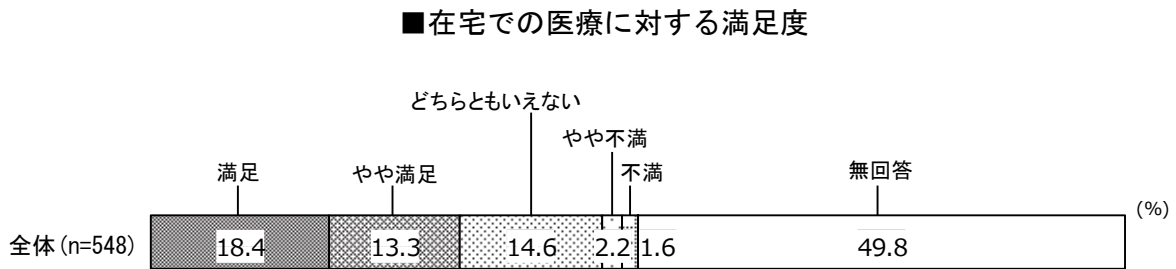
■在宅療養を送るうえで困っていること（複数回答）

〈自宅訪問による診療を受けている人〉



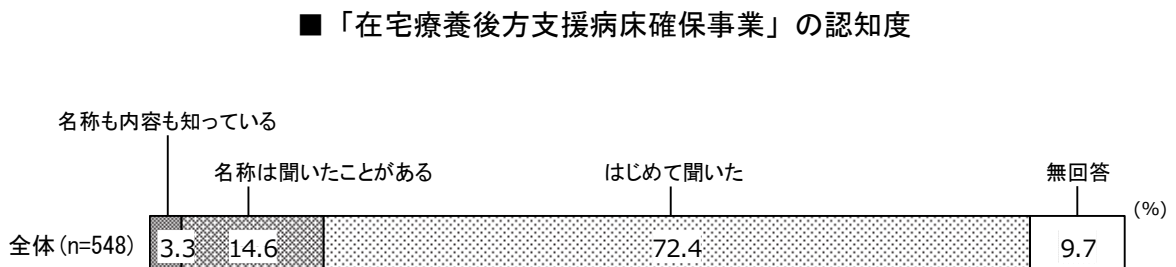
⑥ 在宅での医療に対する満足度（問12）

在宅での医療に対する満足度は、「満足」が18.4%、「やや満足」が13.3%、「どちらともいえない」が14.6%、「やや不満」が2.2%、「不満」が1.6%となっている。



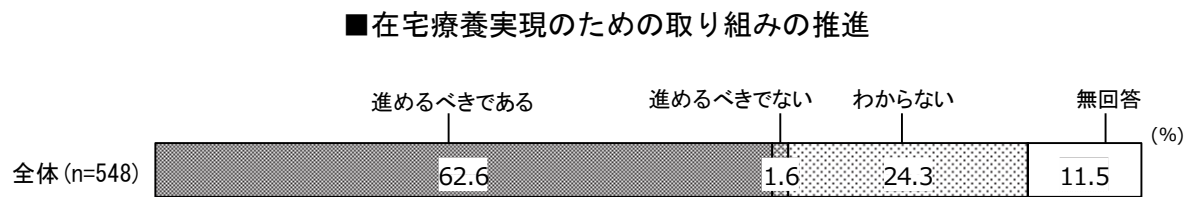
⑦ 「在宅療養後方支援病床確保事業」の認知度（問13（1））

「在宅療養後方支援病床確保事業」の認知度は、「名称も内容も知っている」が3.3%、「名称は聞いたことがある」が14.6%、「はじめて聞いた」が72.4%となっている。



⑧ 在宅療養実現のための取り組みの推進（問13（2））

在宅療養実現のための取り組みの推進は、「進めるべきである」が62.6%、「進めるべきでない」が1.6%、「わからない」が24.3%となっている。



⑨ 在宅療養実現のための取り組みを進めるべきでないと思う理由（問13付問）

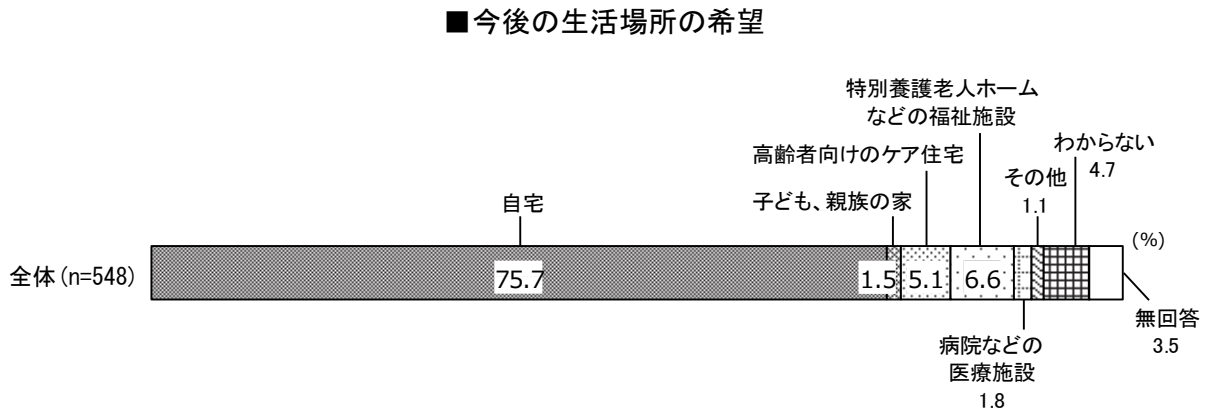
在宅療養実現のための取り組みを進めるべきでないと思う理由を自由記述形式でうかがった。主な意見は、以下のとおりとなっている。

- ・在宅療養は家族に大変負担をかけるため。
- ・専門家がそばにいないと駄目だから。

(3) 今後の希望

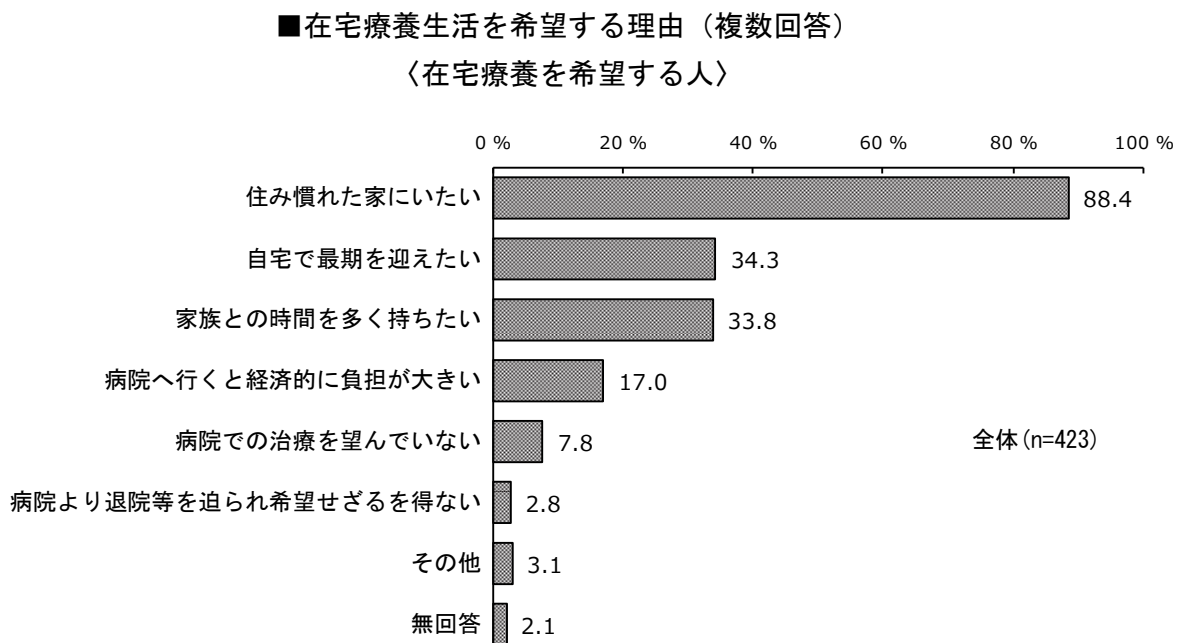
① 今後の生活場所の希望 (問 14)

今後の生活場所の希望は、「自宅」(75.7%)が最も多く、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」(6.6%)、「高齢者向けのケア住宅」(5.1%)と続いている。



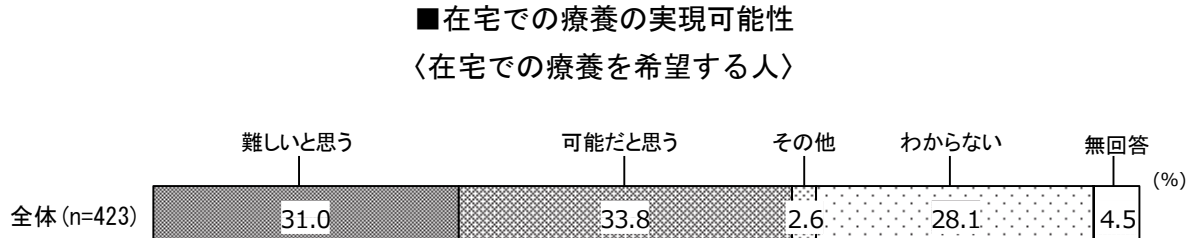
② 在宅療養生活を希望する理由 (問 14 付問 1)

在宅療養を希望する人(問 14 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人)の理由は、「住み慣れた家にいたい」(88.4%)が最も多く、「自宅で最期を迎えたい」(34.3%)、「家族との時間を多く持ちたい」(33.8%)と続いている。



③ 在宅での療養の実現可能性（問 14 付問 2）

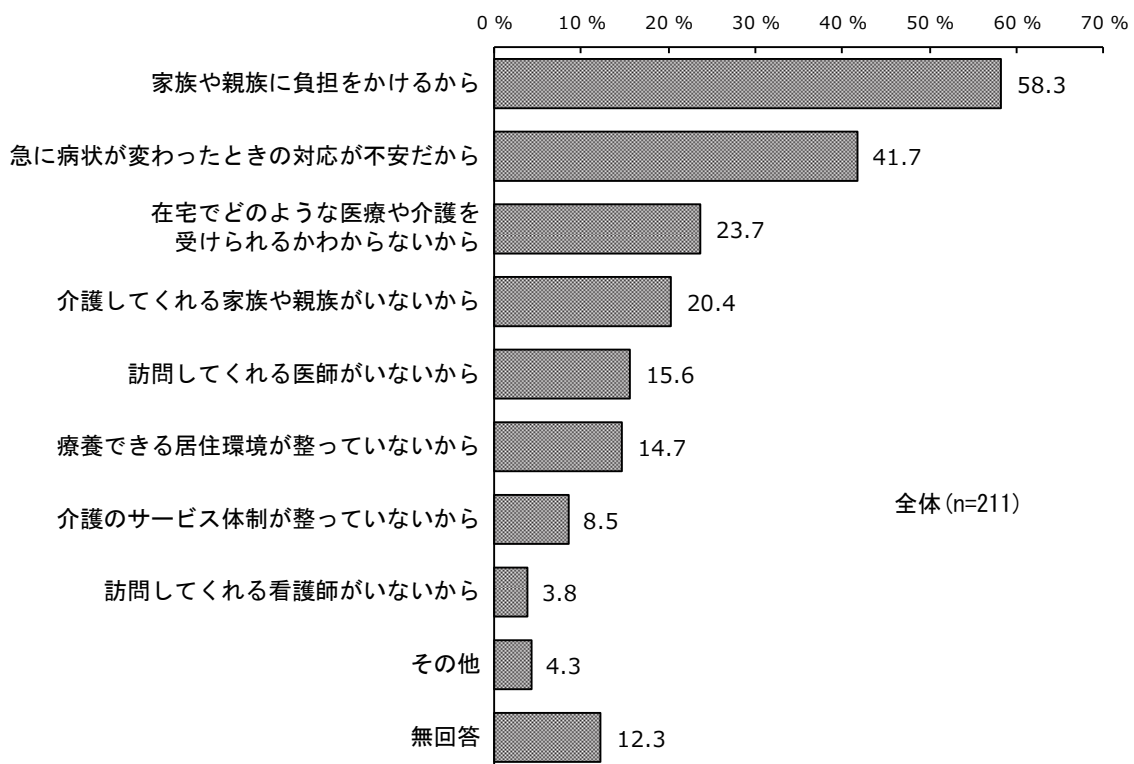
在宅での療養を希望する人（問 14 で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」（33.8%）が最も多く、「難しいと思う」（31.0%）、「わからない」（28.1%）と続いている。



④ 在宅での療養を希望しないまたは希望するが難しいと思う理由（問 14 付問 3）

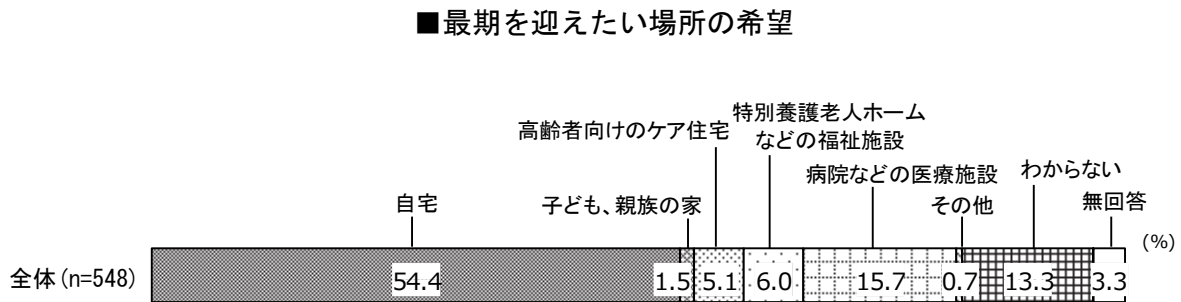
在宅での療養を希望しないまたは希望するが難しいと思う人（問 14 で「高齢者向けのケア住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」、問 14 付問 2 で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（58.3%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（41.7%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから」（23.7%）と続いている。

■在宅での療養を希望しないまたは希望するが難しいと思う理由（複数回答（3つまで））
〈在宅での療養を希望しないまたは希望するが難しいと思う人〉



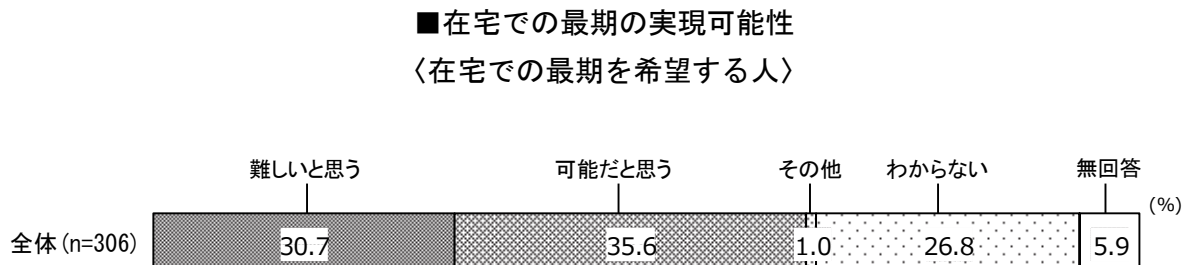
⑤ 最期を迎えたい場所の希望（問15）

最期を迎えたい場所の希望は、「自宅」（54.4%）が最も多く、「病院などの医療施設」（15.7%）、「わからない」（13.3%）と続いている。



⑥ 在宅での最期の実現可能性（問15 付問1）

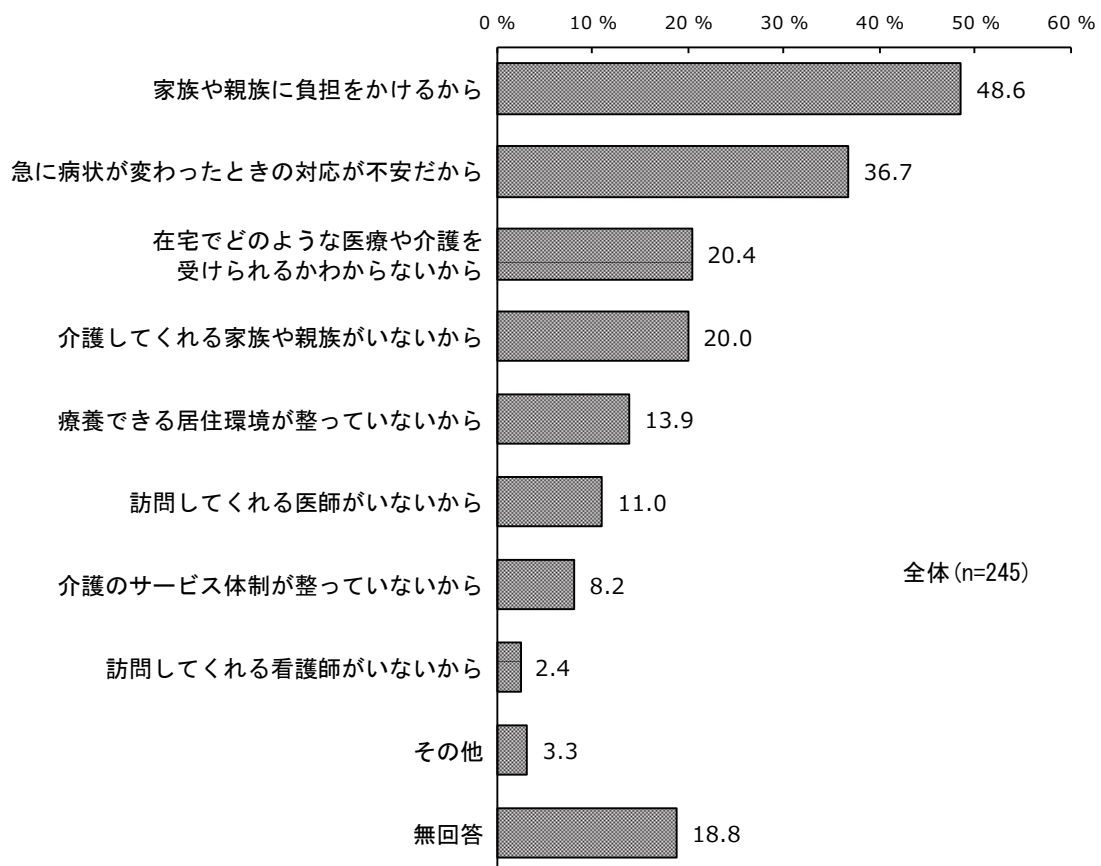
在宅での最期を希望する人（問15で「自宅」「子ども、親族の家」と回答した人）の実現可能性は、「可能だと思う」（35.6%）が最も多く、「難しいと思う」（30.7%）、「わからない」（26.8%）と続いている。



⑦ 在宅での最期を希望しないまたは希望するが難しいと思う理由（問15付問2）

在宅での最期を希望しないまたは希望するが難しいと思う人（問15で「高齢者向けのケア住宅」「特別養護老人ホームなどの福祉施設」「病院などの医療施設」「その他」、問15付問1で「難しいと思う」と回答した人）の理由は、「家族や親族に負担をかけるから」（48.6%）が最も多く、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」（36.7%）、「在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから」（20.4%）、「介護してくれる家族や親族がないから」（20.0%）と続いている。

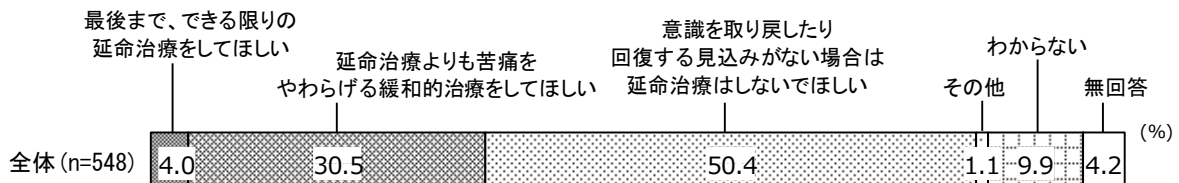
■在宅での最期を希望しないまたは希望するが難しいと思う理由（複数回答（3つまで））



⑧ 延命治療についての希望（問16）

延命治療についての希望は、「意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は延命治療はしないでほしい」（50.4%）が最も多く、「延命治療よりも苦痛をやわらげる緩和的治療をしてほしい」（30.5%）、「わからない」（9.9%）と続いている。

■延命治療についての希望



⑨ 長期療養、終末期、延命治療についての家族等への意向表明の有無（問17）

長期療養、終末期、延命治療についての家族等への意向表明の有無は、「伝えている」が54.9%、「伝えていない」が37.0%となっている。

■長期療養、終末期、延命治療についての家族等への意向表明の有無

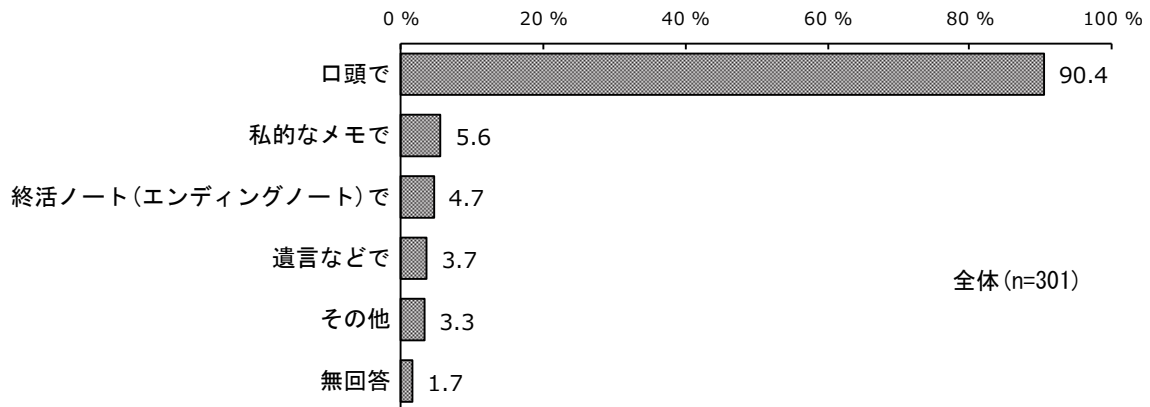


⑩ 長期療養、終末期、延命治療についての意向の伝え方（問17付問1）

長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えている人（問17で「伝えている」と回答した人）の伝え方は、「口頭で」（90.4%）が最も多くなっている。

■長期療養、終末期、延命治療についての意向の伝え方（複数回答）

〈長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えている人〉

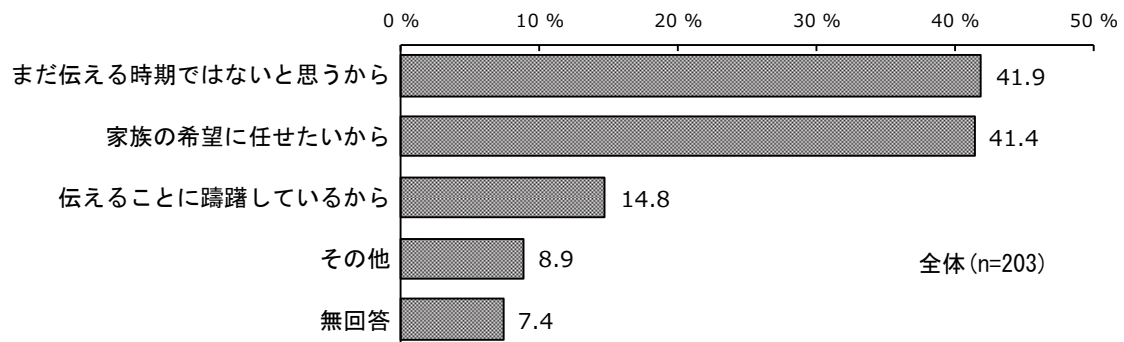


⑪ 長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えていない理由（問17付問2）

長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えていない人（問17で「伝えていない」と回答した人）の理由は、「まだ伝える時期ではないと思うから」（41.9%）が最も多く、「家族の希望に任せたいから」（41.4%）、「伝えることに躊躇しているから」（14.8%）と続いている。

■長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えていない理由（複数回答）

〈長期療養、終末期、延命治療についての意向を伝えていない人〉

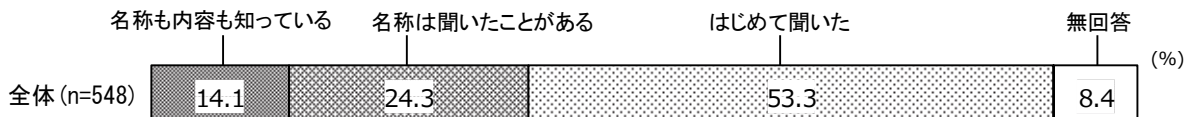


(4) 介護予防

① 「介護予防・日常生活支援総合事業」の認知度 (問 18)

「介護予防・日常生活支援総合事業」の認知度は、「はじめて聞いた」(53.3%)が最も多く、「名称は聞いたことがある」(24.3%)、「名称も内容も知っている」(14.1%)と続いている。

■ 「介護予防・日常生活支援総合事業」の認知度

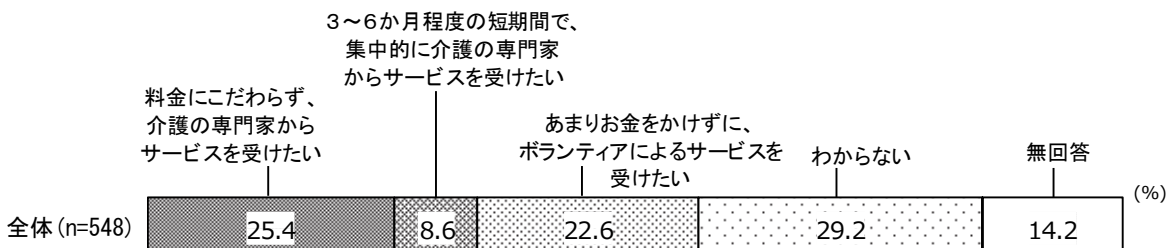


② 家族以外の人から介護や手助けが必要になった場合に受けたいサービス (問 19)

(1) 自宅でトイレやお風呂の介助などの介護を受けるサービス

自宅でトイレやお風呂の介助などの介護を受けるサービスについては、「わからない」(29.2%)が最も多く、「料金にこだわらず、介護の専門家からサービスを受けたい」(25.4%)、「あまりお金をかけずに、ボランティアによるサービスを受けたい」(22.6%)と続いている。

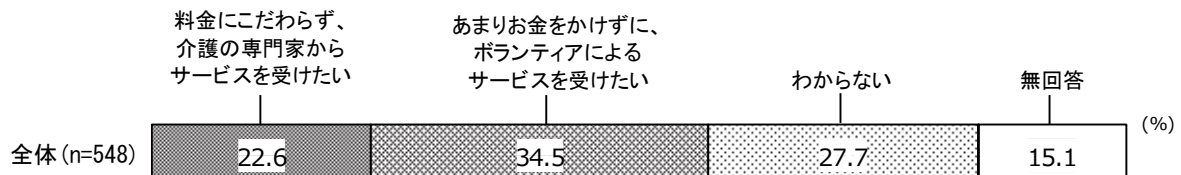
■ 自宅でトイレやお風呂の介助などの介護を受けるサービス



(2) 自宅で掃除・調理・洗濯などを手伝ってもらうサービス

自宅で掃除・調理・洗濯などを手伝ってもらうサービスについては、「あまりお金をかけずに、ボランティアによるサービスを受けたい」(34.5%)が最も多く、「わからない」(27.7%)、「料金にこだわらず、介護の専門家からサービスを受けたい」(22.6%)と続いている。

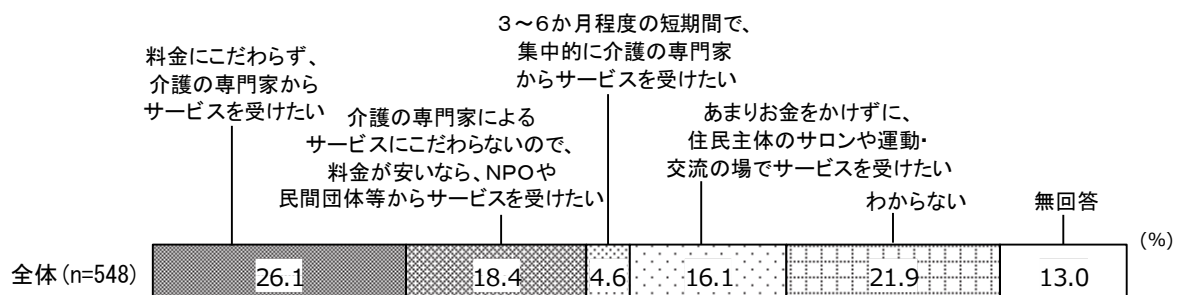
■自宅で掃除・調理・洗濯などを手伝ってもらうサービス



(3) デイサービスなどに通い、食事や入浴、衰えた運動能力の回復や口の中のケアなどを行うサービス

デイサービスなどに通い、食事や入浴、衰えた運動能力の回復や口の中のケアなどを行うサービスについては、「料金にこだわらず、介護の専門家からサービスを受けたい」(26.1%)が最も多く、「わからない」(21.9%)、「介護の専門家によるサービスにこだわらないので、料金が安いなら、NPOや民間団体等からサービスを受けたい」(18.4%)と続いている。

■デイサービスなどに通い、食事や入浴、衰えた運動能力の回復や口の中のケアなどを行うサービス

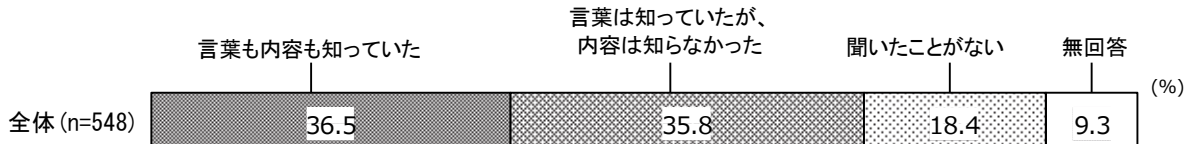


(5) 認知症や権利擁護

① 成年後見制度の認知状況 (問 20)

成年後見制度の認知状況は「言葉も内容も知っていた」(36.5%)が最も多く、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」(35.8%)、「聞いたことがない」(18.4%)と続いている。

■ 成年後見制度の認知状況



平成25年度調査と比較すると、「言葉も内容も知っていた」が5.1ポイント増加している。

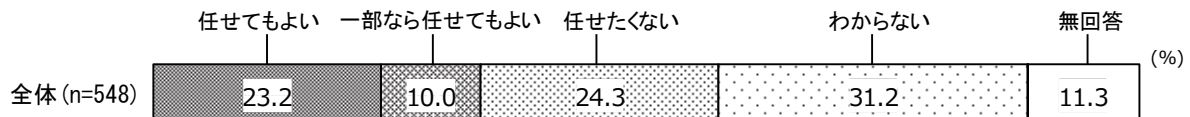
■ 【前回比較】 成年後見制度の認知状況

	(%)			
	言葉も内容も知っていた	言葉は知っていたが、内容は知らなかった	聞いたことがない	無回答
平成28年度調査 (n=548)	36.5	35.8	18.4	9.3
平成25年度調査 (n=933)	31.4	33.4	20.9	14.3

② 成年後見制度の利用意向（問 21）

成年後見制度の利用意向は、「わからない」（31.2%）が最も多く、「任せたくない」（24.3%）、「任せてもよい」（23.2%）と続いている。

■ 成年後見制度の利用意向



平成 25 年度調査と比較すると、“任せてもよい”（「任せてもよい」「一部なら任せてもよい」の合計）が 4.7 ポイント増加している。

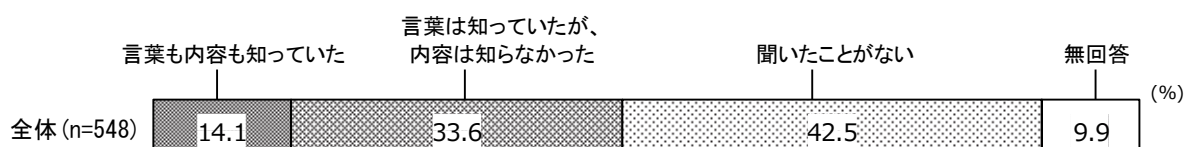
■ 【前回比較】 成年後見制度の利用意向

	任せてもよい	一部なら任せ	任せたくない	わからない	無回答
平成28年度調査 (n=548)	23.2	10.0	24.3	31.2	11.3
平成25年度調査 (n=933)	19.8	8.7	27.1	32.7	11.7

③ 日常生活自立支援事業の認知状況（問 22）

日常生活自立支援事業の認知状況は、「聞いたことがない」（42.5%）が最も多く、「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」（33.6%）、「言葉も内容も知っていた」（14.1%）と続いている。

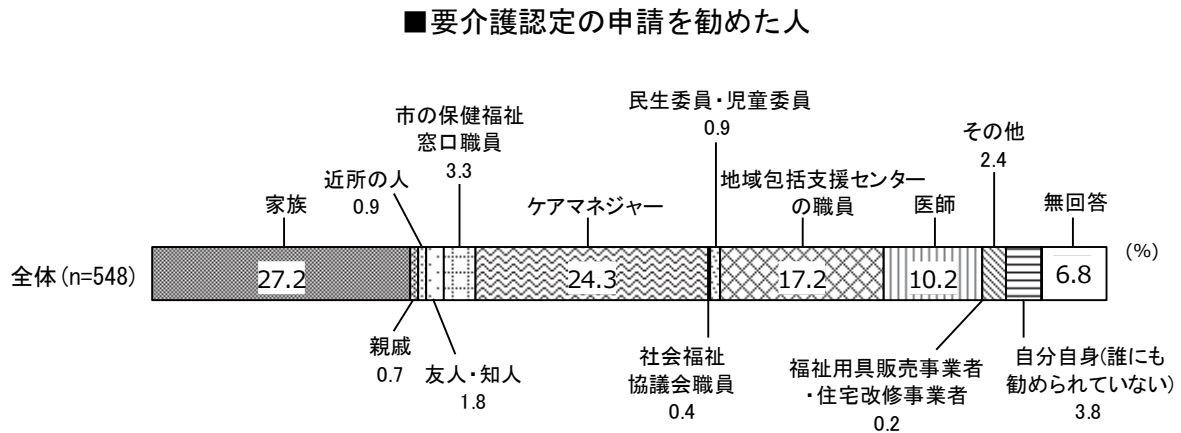
■ 日常生活自立支援事業の認知状況



(6) 介護保険サービスの利用

① 要介護認定の申請を勧めた人 (問 23)

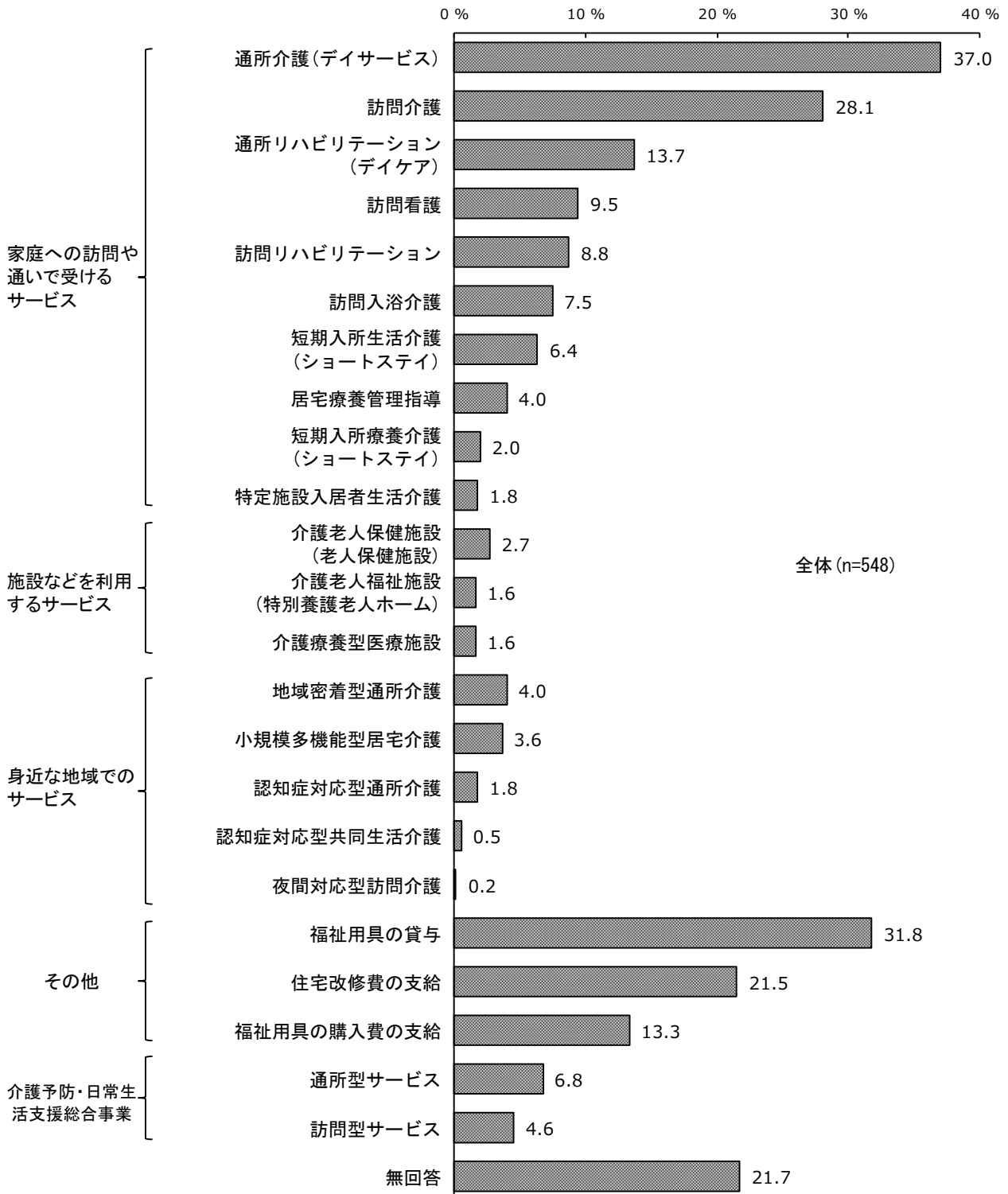
要介護認定の申請を勧めた人は、「家族」(27.2%) が最も多く、「ケアマネジャー」(24.3%)、「地域包括支援センターの職員」(17.2%) と続いている。



② 利用している介護保険サービス（問 24）

利用している介護保険サービスは、“通所介護”（「通所介護（デイサービス）」「地域密着型通所介護」「通所型サービス」の合計）が 47.8%で最も多く、次いで“訪問介護”（「訪問介護」「訪問型サービス」の合計）が 32.7%で多くなっている。

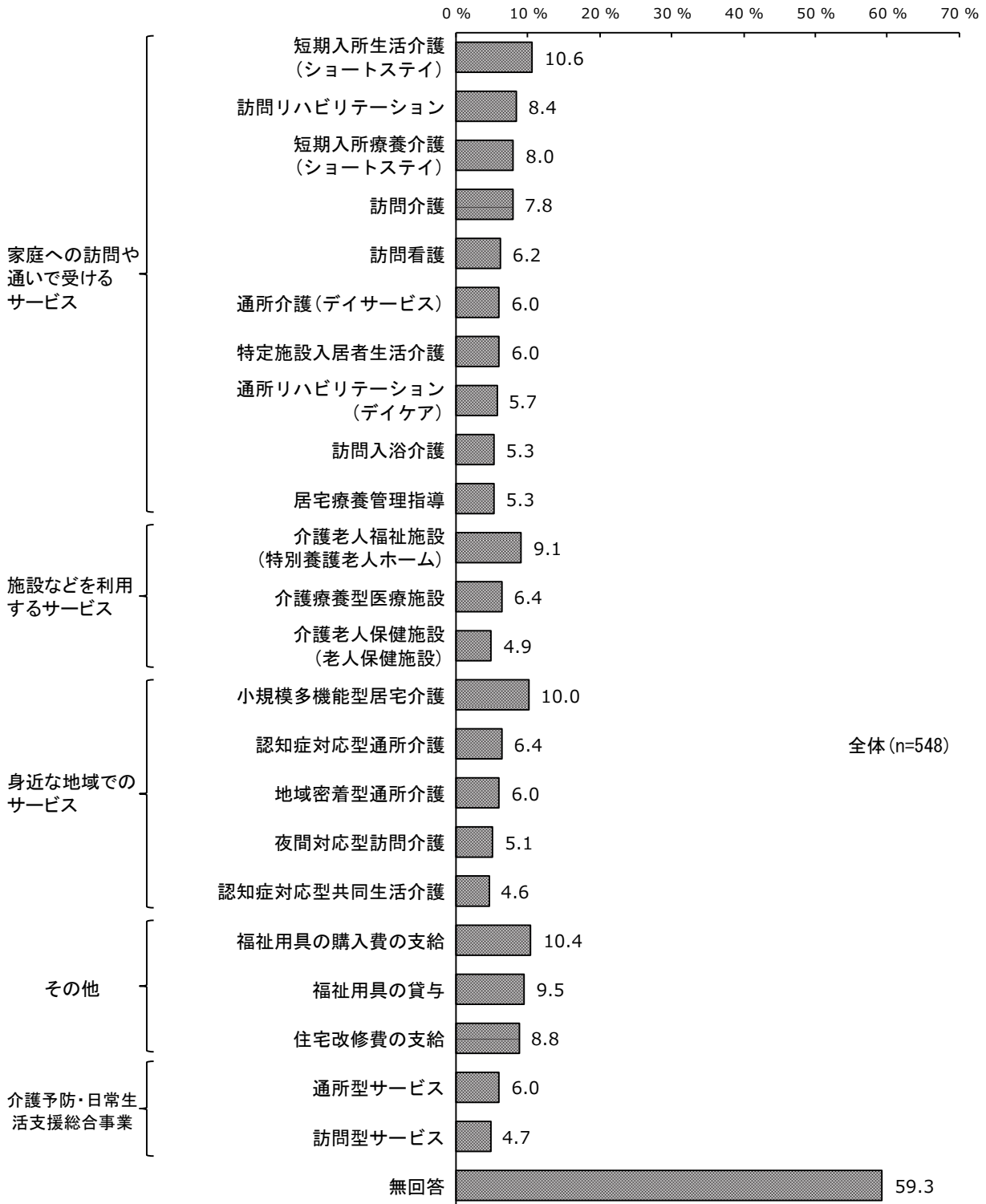
■利用している介護保険サービス（複数回答）



③ 介護保険サービスの利用意向（問24）

利用意向のある介護保険サービスは、“通所介護”（「通所介護（デイサービス）」「地域密着型通所介護」「通所型サービス」の合計）が18.0%で最も多く、次いで“訪問介護”（「訪問介護」「訪問型サービス」の合計）が12.5%で多くなっている。

■介護保険サービスの利用意向（複数回答）

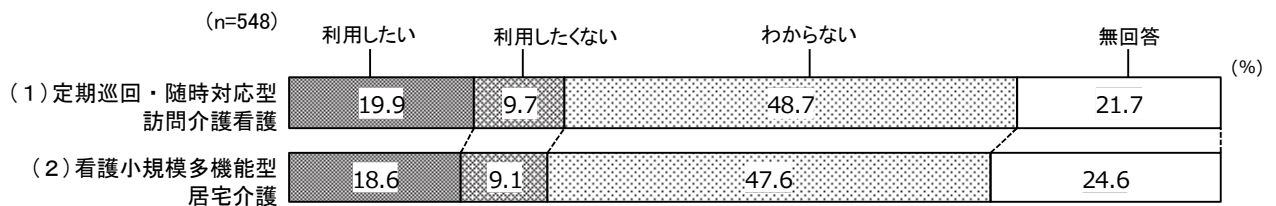


④ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「看護小規模多機能型居宅介護」の利用意向（問 24 付問）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用意向は、「利用したい」が19.9%、「利用したくない」が9.7%となっている。

看護小規模多機能型居宅介護の利用意向は、「利用したい」が18.6%、「利用したくない」が9.1%となっている。

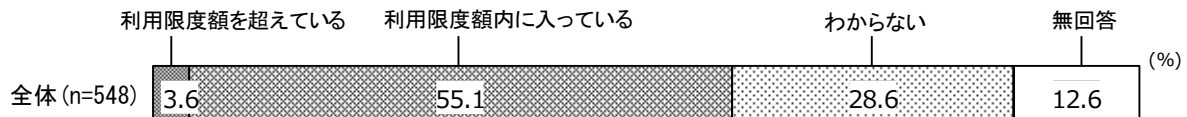
■ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」と「看護小規模多機能型居宅介護」の利用意向



⑤ 利用限度額の超過の有無（問 25）

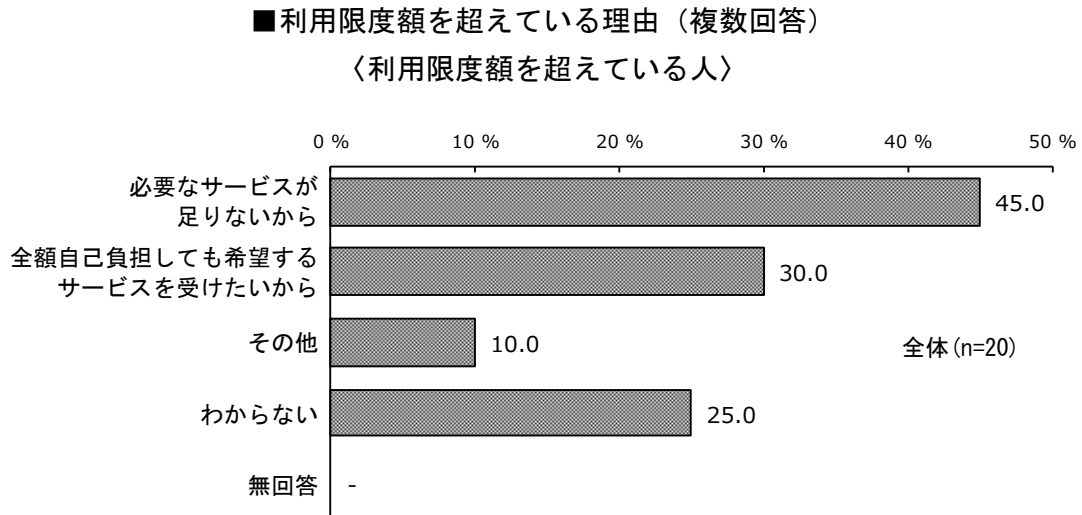
利用限度額の超過の有無は、「利用限度額を超えている」が3.6%、「利用限度額内に入っている」が55.1%となっている。

■ 利用限度額の超過の有無



⑥ 利用限度額を超えている理由（問25付問1）

利用限度額を超えている人（問25で「利用限度額を超えている」と回答した人）の理由は、「必要なサービスが足りないから」（45.0%）が最も多く、「全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから」（30.0%）、「わからない」（25.0%）と続いている。



平成25年度調査と比較すると、「必要なサービスが足りないから」が増加し、「全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから」が減少している。

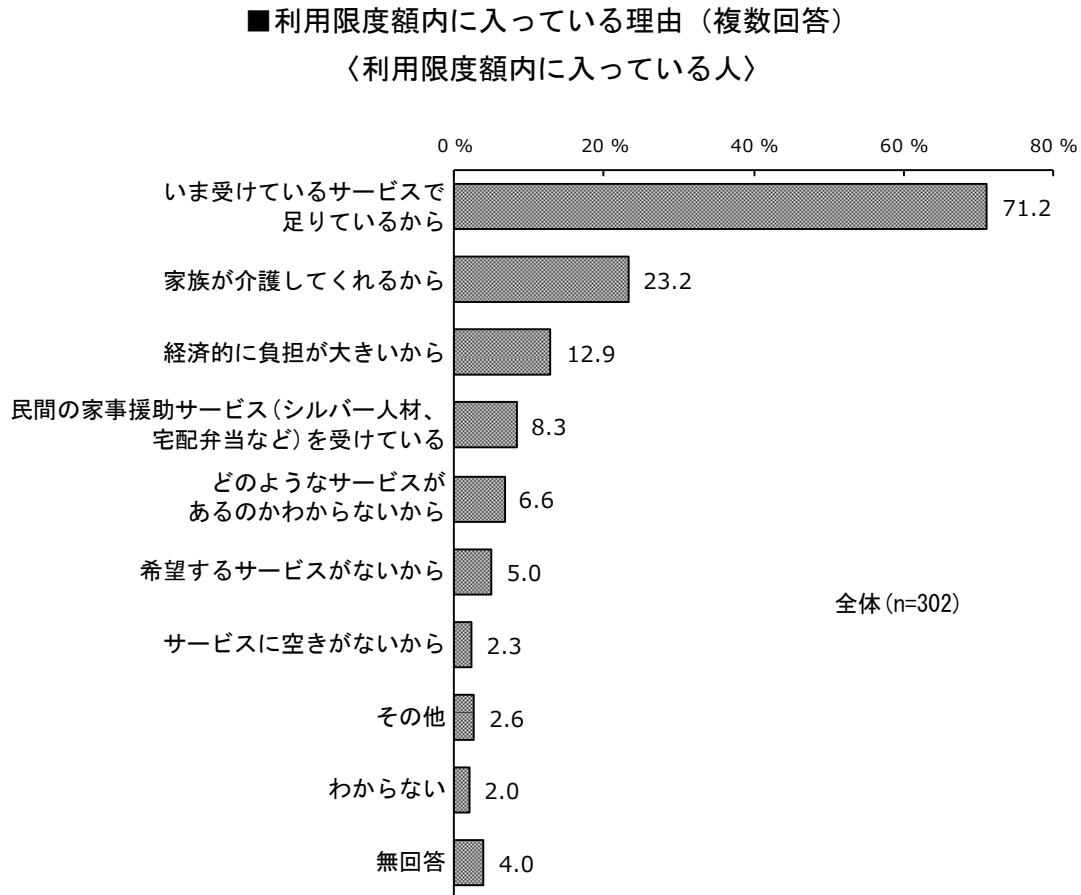
■ 【前回比較】 利用限度額を超えている理由（複数回答）

〈利用限度額を超えている人〉

	(%)				
	必要なサービスが足りないから	全額自己負担しても希望するサービスを受けたいから	その他	わからない	無回答
平成28年度調査 (n=20)	45.0	30.0	10.0	25.0	-
平成25年度調査 (n=42)	33.3	40.5	9.5	16.7	7.1

⑦ 利用限度額内に入っている理由（問 25 付問 2）

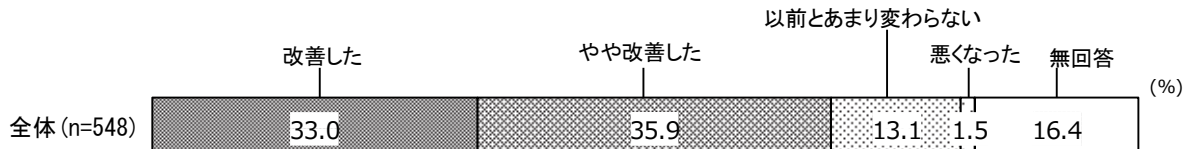
利用限度額内に入っている人（問 25 で「利用限度額内に入っている」と回答した人）の理由は、「いま受けているサービスで足りているから」（71.2%）が最も多く、「家族が介護してくれるから」（23.2%）、「経済的に負担が大きいから」（12.9%）と続いている。



⑧ 介護保険サービス利用後の生活環境の変化（問26）

介護保険サービス利用後の生活環境の変化は、「改善した」が33.0%、「やや改善した」が35.9%、「以前とあまり変わらない」が13.1%、「悪くなった」が1.5%となっている。

■介護保険サービス利用後の生活環境の変化

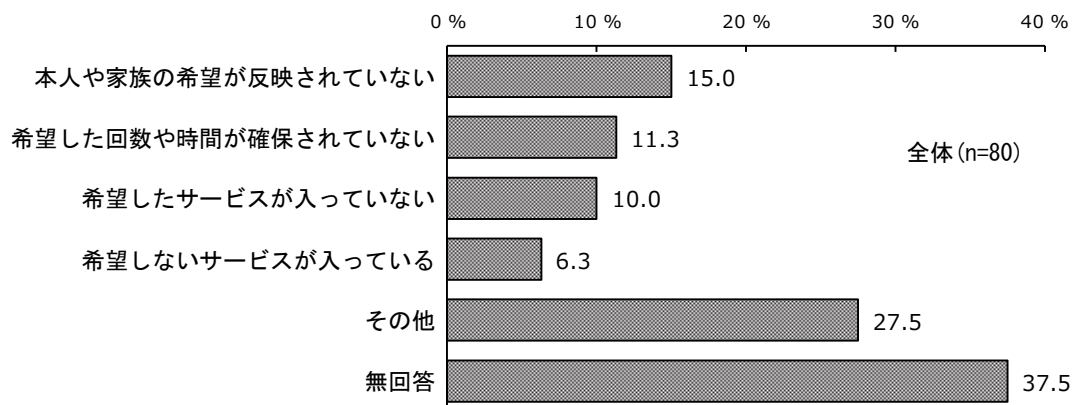


⑨ 変化がない、悪くなった理由（問26付問）

変化がない、悪くなった人（問26で「以前とあまり変わらない」「悪くなった」と回答した人）の理由は、「その他」（お金がかかる、分からないなど）（27.5%）が最も多く、「本人や家族の希望が反映されていない」（15.0%）、「希望した回数や時間が確保されていない」（11.3%）と続いている。

■変化がない、悪くなった理由（複数回答）

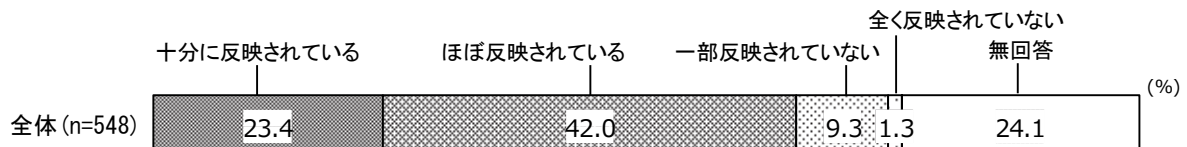
〈変化がない、悪くなった人〉



⑩ 居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映 (問 27)

居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映は、「十分に反映されている」が 23.4%、「ほぼ反映されている」が 42.0%、「一部反映されていない」が 9.3%、「全く反映されていない」が 1.3%となっている。

■居宅サービス計画への本人や家族の希望の反映



⑪ 介護支援専門員に対する満足度 (問 28)

介護支援専門員に対する満足度は、「満足している」(50.9%) が最も多く、「ふつう」(17.7%)、「やや満足している」(14.2%) と続いている。

■介護支援専門員に対する満足度



平成 25 年度調査と比較すると、「やや満足している」は微増となっているが、「満足している」は 4.7 ポイントの減少となっている。

■【前回比較】介護支援専門員に対する満足度

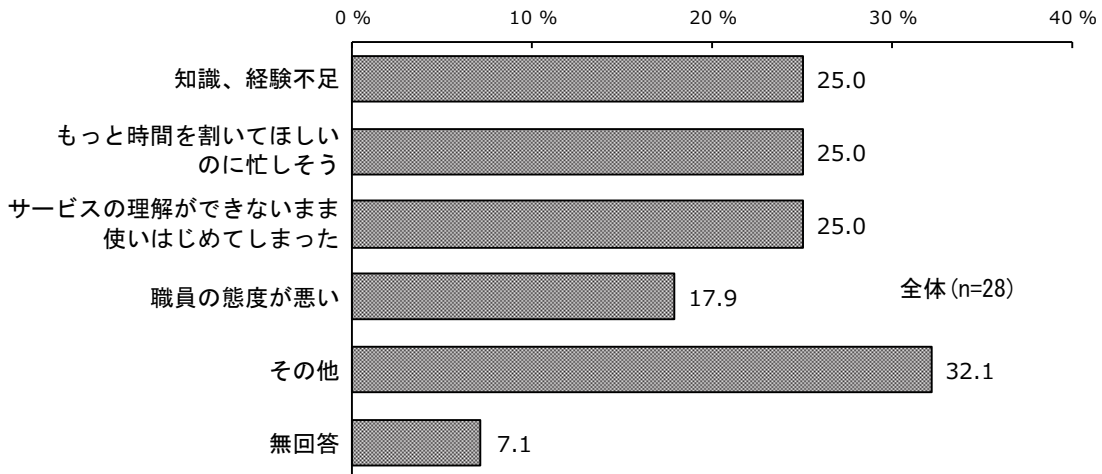
	満足度 (%)					
	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
平成28年度調査 (n=548)	50.9	14.2	17.7	3.1	2.0	12.0
平成25年度調査 (n=933)	55.6	12.4	16.8	3.1	1.6	10.4

⑫ 介護支援専門員に対する不満（問 28 付問）

介護支援専門員に対する不満を感じた人（問 28 で「やや不満である」「不満である」と回答した人）の不満の内容は、「知識、経験不足」「もっと時間を割いてほしいのに忙しそう」「サービスの理解ができないまま使いはじめてしまった」がそれぞれ4分の1となっている。

■介護支援専門員に対する不満（複数回答）

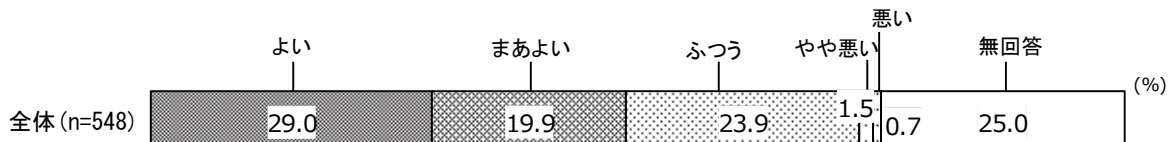
〈介護支援専門員に不満を感じた人〉



⑬ 居宅サービスの満足度（問 29）

居宅サービスの満足度は、「よい」(29.0%) が最も多く、「ふつう」(23.9%)、「まあよい」(19.9%) と続いている。

■居宅サービスの満足度



平成 25 年度調査と比較すると、「ふつう」が 4.2 ポイント増加し、「よい」が 5.4 ポイント減少している。

■【前回比較】居宅サービスの満足度

	(%)			
	よい	ふつう	悪い	無回答
平成28年度調査 (n=548)	48.9	23.9	2.2	25.0
平成25年度調査 (n=933)	54.3	19.7	2.4	23.6

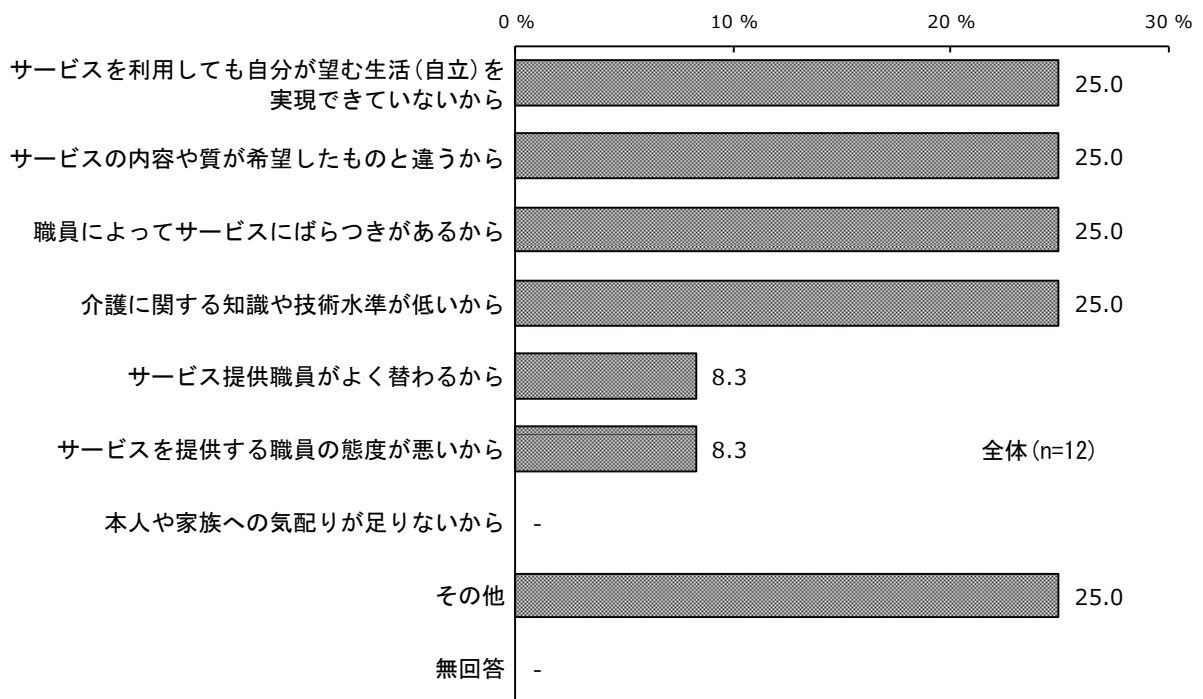
※「よい」：平成25年度は「大変よい」「まあよい」の合計
 平成28年度は「よい」「まあよい」の合計
 「悪い」：平成25年度は「大変悪い」「やや悪い」の合計
 平成28年度は「悪い」「やや悪い」の合計

⑭ 居宅サービスを不満に思う理由（問 29 付問）

居宅サービスに不満を感じた人の（問 29 で「やや悪い」「悪い」と回答した人）の理由は、「サービスを利用して自分が望む生活（自立）を実現できていないから」「サービスの内容や質が希望したものと違うから」「職員によってサービスにばらつきがあるから」「介護に関する知識や技術水準が低いから」がそれぞれ 4 分の 1 となっている。

■居宅サービスを不満に思う理由（複数回答）

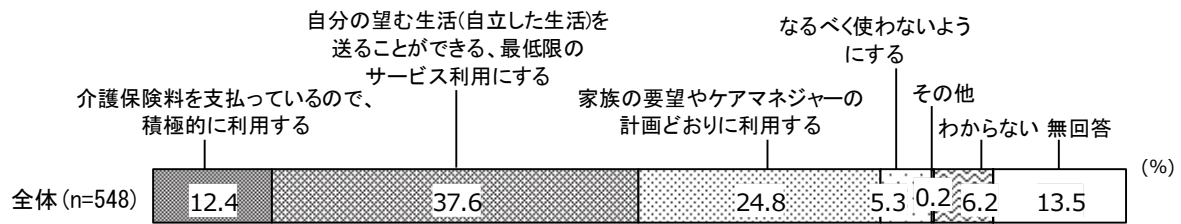
〈居宅サービスに不満を感じた人〉



⑮ 介護保険サービスの利用についての考え（問30）

介護保険サービスの利用についての考えは、「自分の望む生活（自立した生活）を送ることができる、最低限のサービス利用にする」（37.6%）が最も多く、「家族の要望やケアマネジャーの計画どおりに利用する」（24.8%）、「介護保険料を支払っているので、積極的に利用する」（12.4%）と続いている。

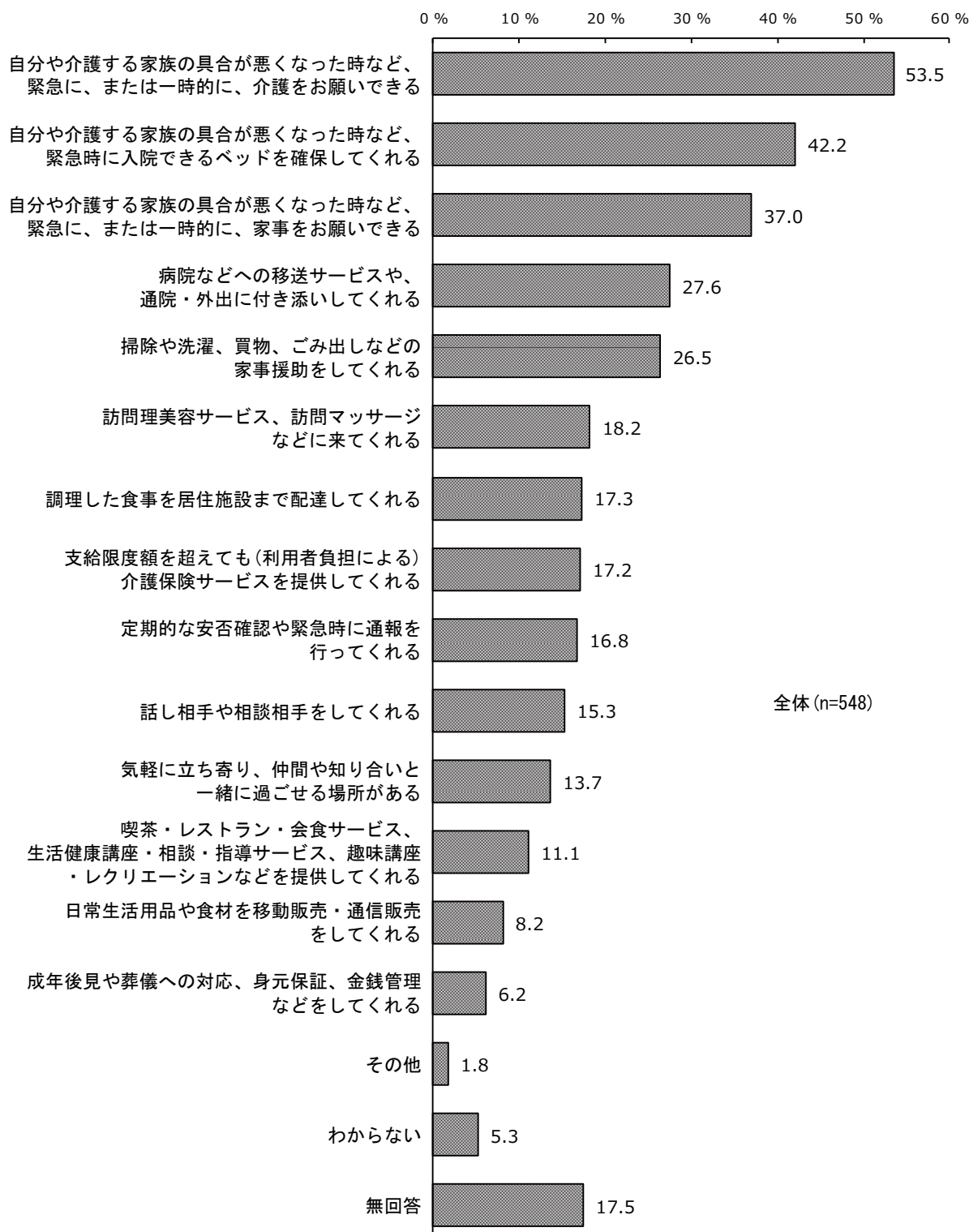
■介護保険サービスの利用についての考え



⑩ 今後希望するサービスや手助け（問 31）

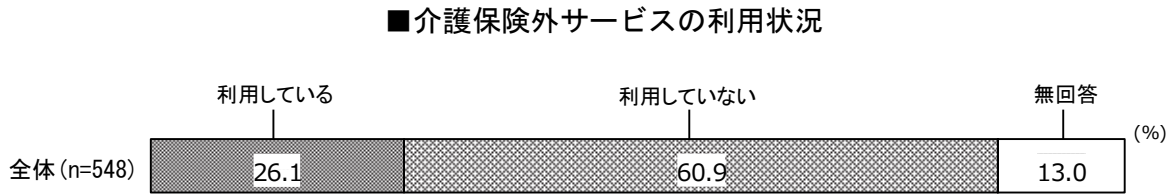
今後希望するサービスや手助けは、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、介護をお願いできる」（53.5%）が最も多く、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急時に入院できるベッドを確保してくれる」（42.2%）、「自分や介護する家族の具合が悪くなった時など、緊急に、または一時的に、家事をお願いできる」（37.0%）と続いている。

■今後希望するサービスや手助け（複数回答）



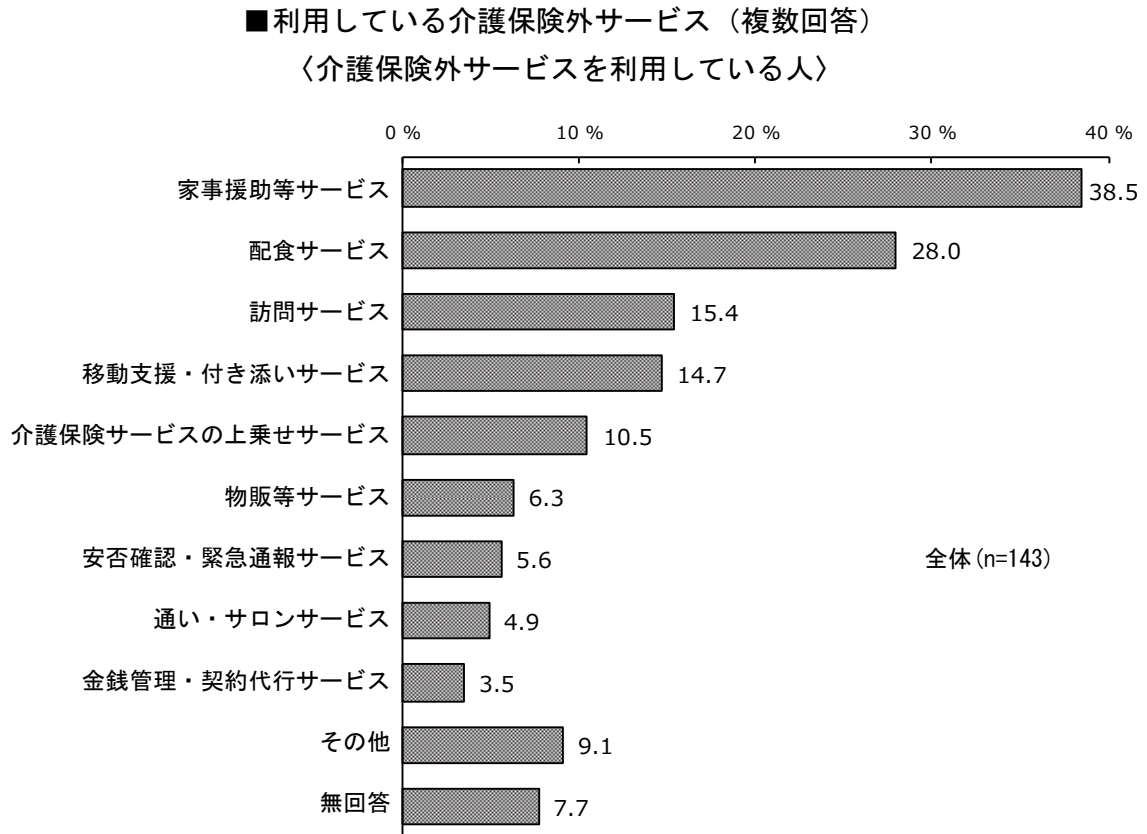
⑰ 介護保険外サービスの利用状況（問32）

介護保険外サービスの利用状況は、「利用している」が26.1%、「利用していない」が60.9%となっている。



⑱ 利用している介護保険外サービス（問32付問1）

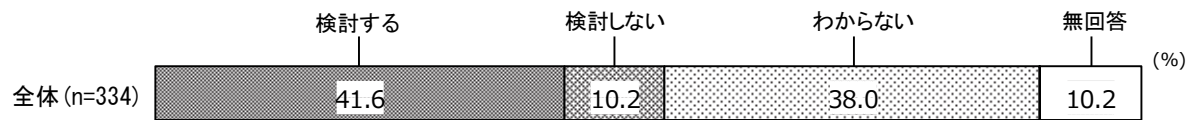
介護保険外サービスを利用している人（問32で「利用している」と回答した人）の利用しているサービスは、「家事援助等サービス（掃除、洗濯、調理、買物等の代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事・ペットの散歩など）」（38.5%）が最も多く、「配食サービス（調理した食事を居住施設まで配達するサービス）」（28.0%）、「訪問サービス（訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談など）」（15.4%）と続いている。



⑱ 介護保険外サービスの料金や内容の明確化による検討の有無（問 32 付問 2）

介護保険外サービスを利用していない人（問 32 で「利用していない」と回答した人）の料金や内容の明確化による検討の有無は、「検討する」（41.6%）が最も多く、「わからない」（38.0%）、「検討しない」（10.2%）と続いている。

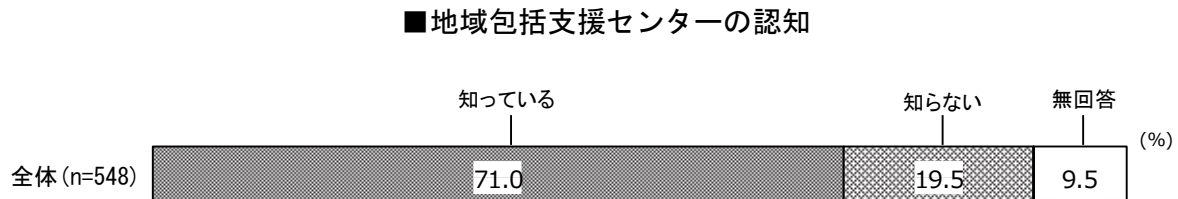
■ 介護保険外サービスの料金や内容の明確化による検討の有無
〈介護保険外サービスを利用していない人〉



(7) 介護保険制度

① 地域包括支援センターの認知 (問 33)

地域包括支援センターの認知は、「知っている」が71.0%、「知らない」が19.5%となっている。



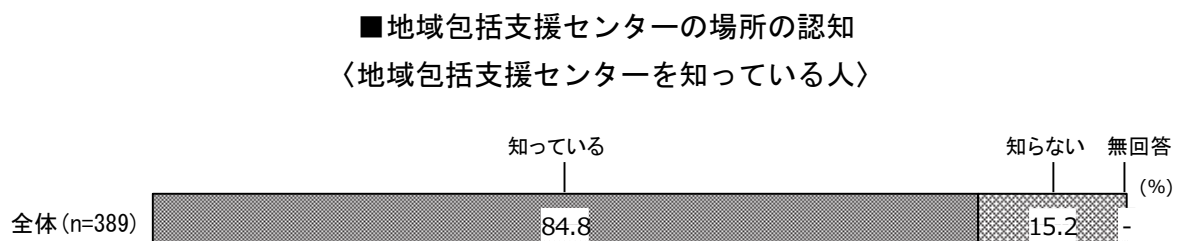
平成25年度調査と比較すると、「知っている」が3.3ポイントの微減となっている。

■【前回比較】地域包括支援センターの認知度

	割合 (%)		
	知っている	知らない	無回答
平成28年度調査 (n=548)	71.0	19.5	9.5
平成25年度調査 (n=933)	74.3	19.5	6.2

② 地域包括支援センターの場所の認知 (問 33 付問)

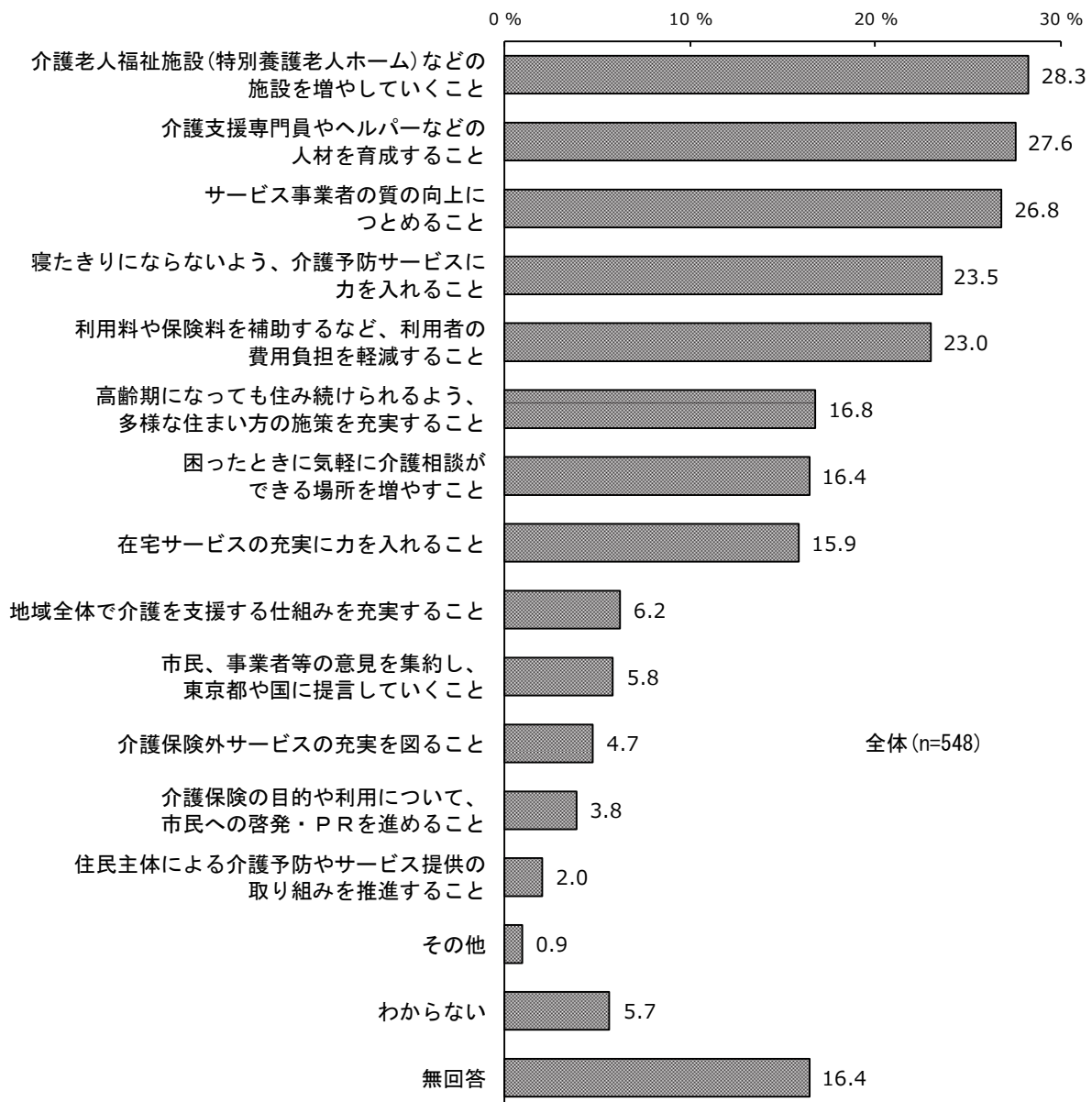
地域包括支援センターを知っている人(問33で「知っている」と回答した人)の場所の認知は、「知っている」が84.8%、「知らない」が15.2%となっている。



③ 介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（問 34）

介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設を増やしていくこと」（28.3%）が最も多く、「介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること」（27.6%）、「サービス事業者の質の向上につとめること」（26.8%）と続いている。

■介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきこと（複数回答（3つまで））



④ 高齢者保健福祉サービス、介護保険制度への意見・要望（問35）

高齢者保健福祉サービス、介護保険制度について、自由記述形式でうかがい、内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は、以下のとおりとなっている。

◇介護保険サービス・生活支援サービスについて

- ・訪問介護サービスには日常生活のサービスの禁止事項が多過ぎる。
- ・ひとり暮らしなので、家で急に具合が悪くなったりしたときのために、近所か隣家に繋がる緊急ボタン等があれば安心だと思う（電話等かけてもらえないのではと思う）。
- ・治療中の病気によっては医療費がかなりかかっている。サービスなどの自己負担はできるだけ安い方がいい。
- ・もっと利用できると言われても、支払い負担が大きくなるので思うようにいかない。

◇情報提供について

- ・介護保険制度、利用方法、窓口などに不明なことが多い。分かりやすい語句を使ってほしい。
- ・サービス内容や制度を理解しやすく書いて配布してもらいたい。
- ・相談ができる窓口を増やしてほしい。

◇施設について

- ・在宅介護と決め、デイサービスのお世話を受けながら看取るまで頑張ろうと思ったが、自身の大病により不可能となってしまった。突然の時、即入所できる安価な特別養護老人ホームがあったらとつくづく思う。
- ・特別養護老人ホームと介護職員を増やし、安心して、ゆとりのある介護サービスが受けられるようにしてほしい。

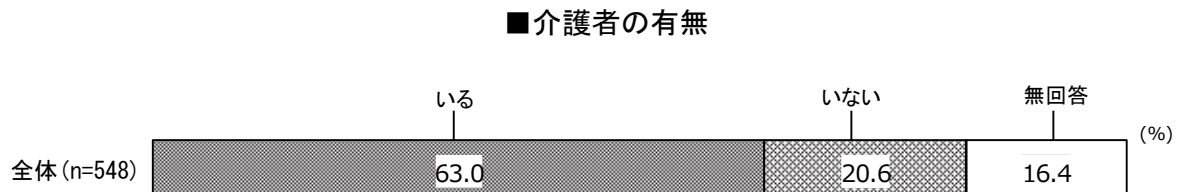
◇移動手段について

- ・通院するときのタクシー代は負担になるが、割引などを考えてほしい。
- ・自宅前から車椅子でバスに乗るときや電車に乗るときなど、やはり気を使うため外出することが少なくなった。

(8) 介護者の状況

① 介護者の有無 (問 36)

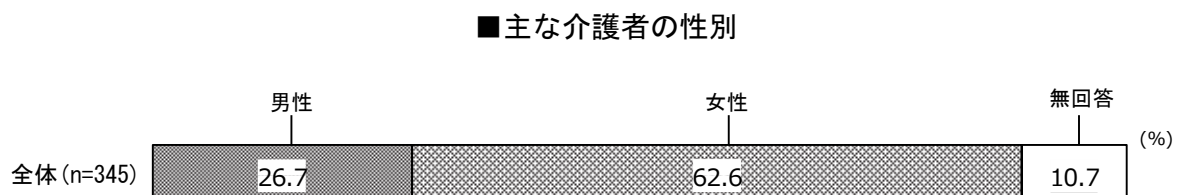
介護者の有無は、「いる」が63.0%、「いない」が20.6%となっている。



※以下問 37～46 は、問 36 で介護者が「いる」(345 人) と回答した場合、宛名ご本人を介護している人にたずねている。

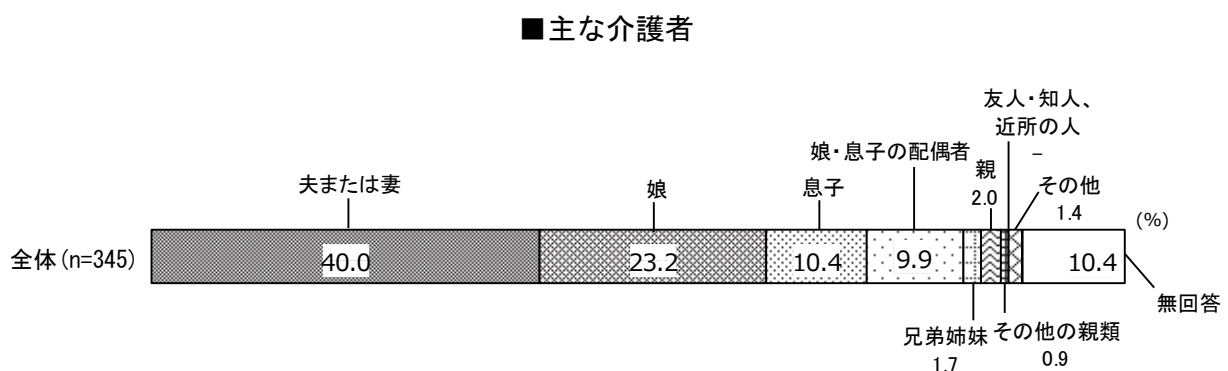
② 主な介護者の性別 (問 37)

主な介護者の性別は、「男性」が26.7%、「女性」が62.6%となっている。



③ 主な介護者 (問 38)

主な介護者は、「夫または妻」(40.0%) が最も多く、「娘」(23.2%)、「息子」(10.4%) と続いている。

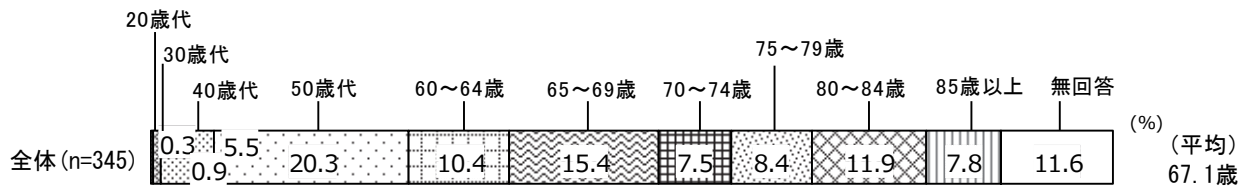


第2章 各調査の結果

④ 主な介護者の年齢（問 39）

主な介護者の年齢は、「60歳未満」が27.0%、「60～64歳」が10.4%、「65～69歳」が15.4%、「70～74歳」が7.5%、「75～79歳」が8.4%、「80～84歳」が11.9%、「85歳以上」が7.8%となっており、平均は67.1歳となっている。

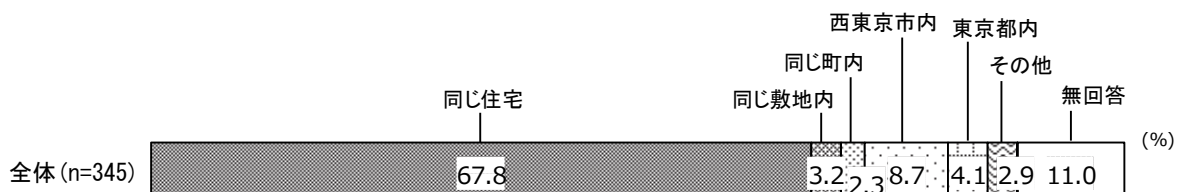
■主な介護者の年齢



⑤ 主な介護者の居住場所（問 40）

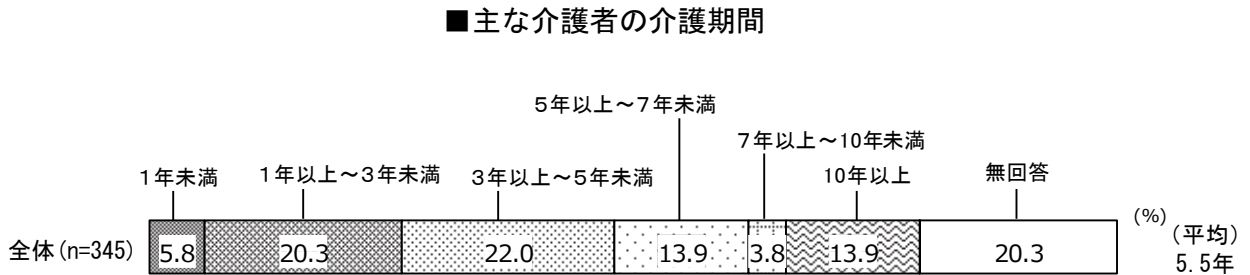
主な介護者の居住場所は、「同じ住宅」が67.8%で最も多く、「西東京市内」が8.7%で続いている。「西東京市内」（「同じ住宅」「同じ敷地内」「同じ町内」「西東京市内」の合計）は82.0%となっている。

■主な介護者の居住場所



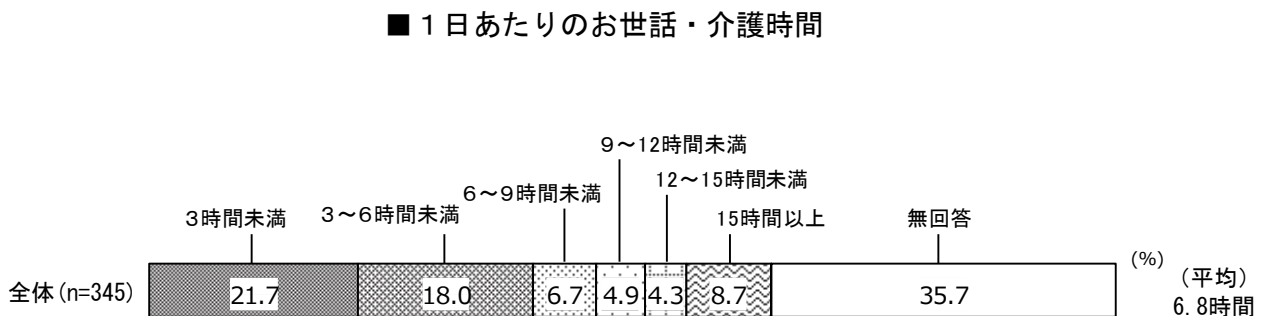
⑥ 主な介護者の介護期間（問 41）

主な介護者の介護期間は、「3年以上～5年未満」（22.0%）が最も多く、「1年以上～3年未満」（20.3%）、「5年以上～7年未満」「10年以上」（ともに13.9%）と続いており、平均は5.5年となっている。



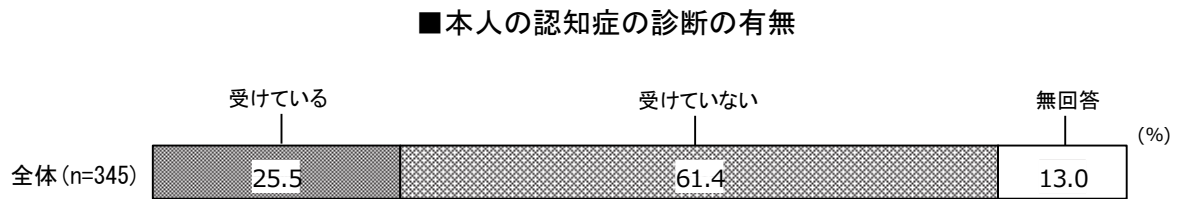
⑦ 1日あたりのお世話・介護時間（問 42）

1日あたりのお世話・介護時間は、「3時間未満」（21.7%）が最も多く、「3～6時間未満」（18.0%）、「15時間以上」（8.7%）と続いており、平均は6.8時間となっている。



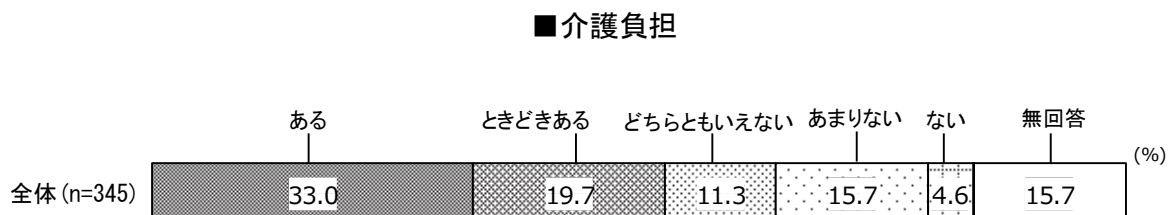
⑧ 本人の認知症の診断の有無（問43）

本人の認知症の診断の有無は、「受けている」が25.5%、「受けていない」が61.4%となっている。



⑨ 介護負担（問44）

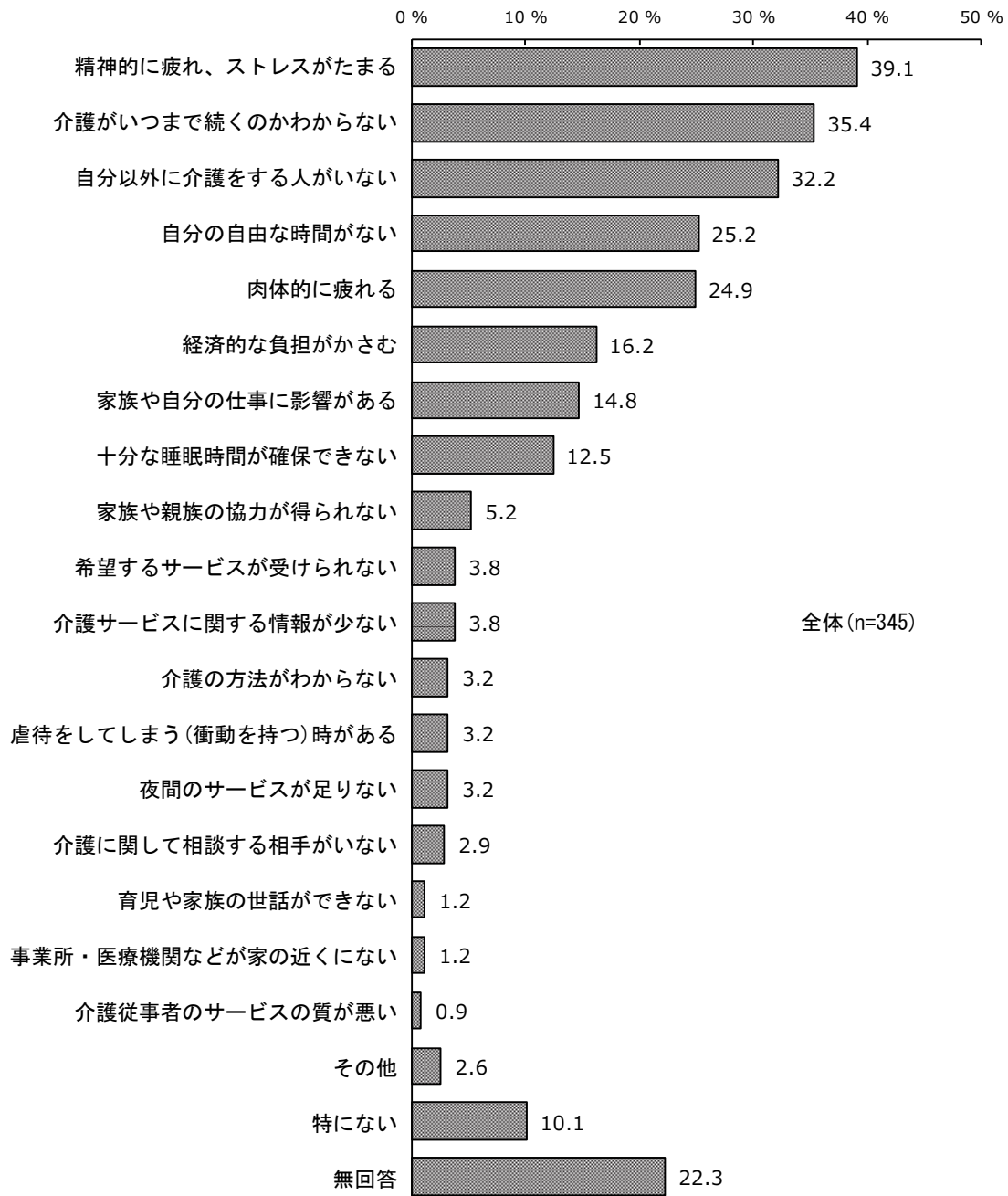
介護負担は、「ある」(33.0%) が最も多く、「ときどきある」(19.7%)、「あまりない」(15.7%) と続いている。



⑩ 介護をするうえでの困りごと（問 45）

介護をするうえでの困りごとは、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」（39.1%）が最も多く、「介護がいつまで続くのかわからない」（35.4%）、「自分以外に介護をする人がいない」（32.2%）と続いている。

■介護をするうえでの困りごと（複数回答）



⑪ 介護者の支援策で必要なもの（問46）

介護者の支援策で必要なものは、「介護者に対する定期的な情報提供」（29.3%）が最も多く、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」（25.8%）、「在宅介護者への手当」（19.4%）と続いている。

■介護者の支援策で必要なもの（複数回答）

